

令和2年度  
松山市 市民意識調査  
報告書  
(概要版)

令和3年3月



松山市

# 目次

I 調査概要	3
1. 調査目的	3
2. 調査項目	3
3. 調査対象	3
4. 調査方法	3
5. 調査期間	3
6. 回収結果	3
7. 集計方法	4
8. 注意事項	4
II 調査結果	5
1. 回答者について	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	5
(3) 職業	6
(4) 居住地域	7
(5) 家族構成	8
(6) 居住年数	9
2. 松山市での暮らしについて	10
(1) 松山市のどのようなところを「住みやすい」と感じるか	10
(2) 松山市のどのようなところを「住みにくい」と感じるか	12
(3) 松山市は住みやすいまちか	14
(4) 松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じるか	15
(5) 松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じにくい	17
(6) 松山市に愛着や誇りを感じるか	19
(7) 今後も松山市に住み続けたいか	20
3. 新型コロナウイルスについて	21
(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大による生活の変化	21
(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大によるデジタルツールの利用頻度の変化	21
(3) 新型コロナウイルス感染症の対策	22
(4) 新型コロナウイルス感染症についての情報源	22
4. 介護保険について	23
(1) 「地域包括支援センター」を知っているか	23
(2) 「地域包括ケアシステム」を知っているか	23
(3) 「在宅医療」を知っているか	24
5. 松山市からの新しい情報発信について	25
(1) 「LINE」の利用状況	25
(2) 松山市 LINE 公式アカウント開設を知っているか	25
(3) 松山市 LINE 公式アカウントを友だちに追加しているか	26
(4) 松山市 LINE 公式アカウントを友だちに追加していない理由	26
(5) 松山市 LINE 公式アカウントの利用状況	27
(6) 松山市 LINE 公式アカウントに追加してほしい情報や機能	27

6. SDGs(エスディーゼーズ)について .....	28
(1) SDGsについて知っているか .....	28
(2) SDGsの活動について知っているか .....	29
(3) SDGsに関する活動を行っているか .....	30
(4) 松山市の「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」への選出について知っているか .....	31
7. 市の取り組んでいる施策の満足度・重要度について .....	32
(1) 健康・福祉に関する施策 .....	32
(2) 安全・安心に関する施策 .....	33
(3) 産業・交流に関する施策 .....	34
(4) 教育・文化に関する施策 .....	35
(5) 環境・都市に関する施策 .....	36
(6) 自治・行政に関する施策 .....	37
Ⅲ 調査分析 .....	38
1. 満足度・重要度 .....	38
2. 施策の優先度について .....	40
3. 重要度及び満足度、優先度の関係 .....	41

# I 調査概要

---

## 1. 調査目的

第6次松山市総合計画に掲げた各施策に対する市民の重要度、満足度、優先度等を把握するため、市民に対して意識調査を実施し、計画的かつ効率的な進行管理を図るための基礎資料とする。

## 2. 調査項目

1. 回答者について
2. 松山市での暮らしについて
3. 新型コロナウイルスについて
4. 介護保険について
5. 松山市からの新しい情報発信について
6. SDGs（エスディージーズ）について
7. 市の取り組んでいる施策の満足度・重要度について
8. 施策の優先度について

## 3. 調査対象

2020年12月1日現在（無作為抽出）

①性別：男女計2,000人

②年齢：18歳以上の市民

③地域：松山市全域（集計・分析は公民館ブロックの地区ごと）

## 4. 調査方法

郵送調査

## 5. 調査期間

2021年1月6日～1月26日

## 6. 回収結果

	発送件数	回収数	回収率
全体	2,000	1,278	63.9%

## 7. 集計方法

項目	内容																		
性別集計	・ 男性、女性ごとに集計。																		
年齢別集計	・ 20 歳代以下（18～29 歳）、30 歳代（30～39 歳）、40 歳代（40～49 歳）、50 歳代（50～59 歳）、60 歳代（60～69 歳）、70 歳以上の 6 区分で集計。																		
地域別集計	<p>・ 41 居住地区を、8 公民館ブロックに集約。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック</th> <th>公民館区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1ブロック</td> <td>1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台</td> </tr> <tr> <td>第2ブロック</td> <td>5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荏原 10. 坂本</td> </tr> <tr> <td>第3ブロック</td> <td>11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原</td> </tr> <tr> <td>第4ブロック</td> <td>17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒</td> </tr> <tr> <td>第5ブロック</td> <td>21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生</td> </tr> <tr> <td>第6ブロック</td> <td>25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島</td> </tr> <tr> <td>第7ブロック</td> <td>31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝</td> </tr> <tr> <td>第8ブロック</td> <td>35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井</td> </tr> </tbody> </table>	ブロック	公民館区分	第1ブロック	1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台	第2ブロック	5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荏原 10. 坂本	第3ブロック	11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原	第4ブロック	17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒	第5ブロック	21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生	第6ブロック	25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島	第7ブロック	31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝	第8ブロック	35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井
ブロック	公民館区分																		
第1ブロック	1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台																		
第2ブロック	5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荏原 10. 坂本																		
第3ブロック	11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原																		
第4ブロック	17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒																		
第5ブロック	21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生																		
第6ブロック	25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島																		
第7ブロック	31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝																		
第8ブロック	35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井																		
満足度得点 重要度得点	・ 第 6 次松山市総合計画（後期基本計画）の施策ごとの評価。 選択肢 1「不満、重要でない」から選択肢 5「満足、重要」までに、それぞれ 1 点～5 点を与え、加重平均を算出した。選択肢 0「判断できない」及び「無回答」のサンプルは集計対象から除外した。																		
優先度	・ 優先的に取り組むべき施策として選択された項目について集計した。																		
満足度、重要度、優先度の関係	<p>・ 施策の満足度、重要度を得点に基づき可視化するとともに、優先度が高い施策との相関を示した。</p>																		

## 8. 注意事項

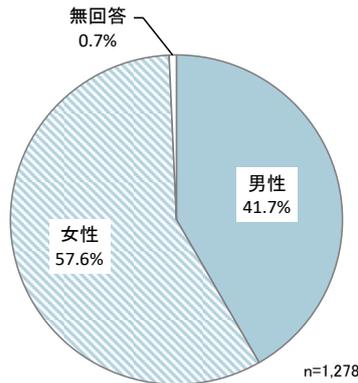
- 図表中の「n」（Number of samples の略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数です。
- 図表中の構成比（%）は、小数点第 2 位以下を四捨五入しています。そのため、個々の構成比の合計が 100.0%にならない場合（99.9%、100.1%など）があります。
- 複数回答の設問は、回答が 2 つ以上ありうるので、合計は 100%を超えることもあります。
- 各設問の集計は、無回答を含めて集計しています。
- Ⅲ 調査分析の満足度・重要度の得点については、小数点第 3 位を四捨五入しているため、同じ値で表示されていても順位が異なる場合があります。平均得点及び得点差は、小数点第 3 位を四捨五入した値を基に分析しています。

## Ⅱ 調査結果

### 1. 回答者について

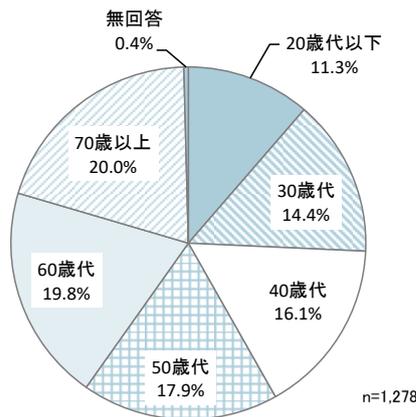
#### (1) 性別

- ・性別は、「男性」が41.7%、「女性」が57.6%であった。



#### (2) 年齢

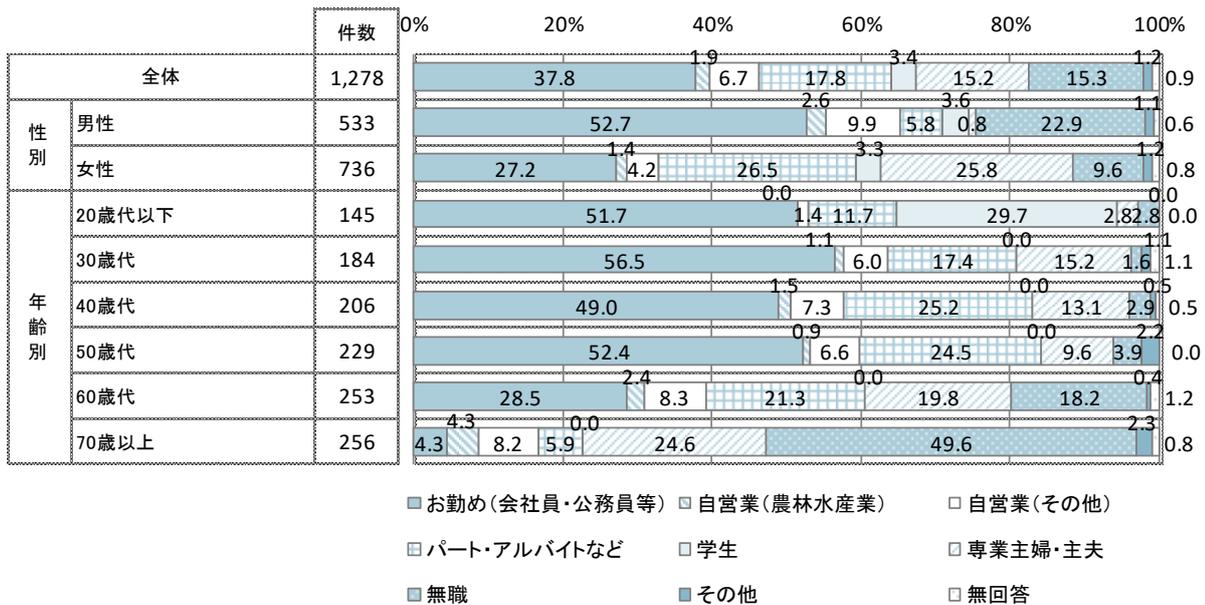
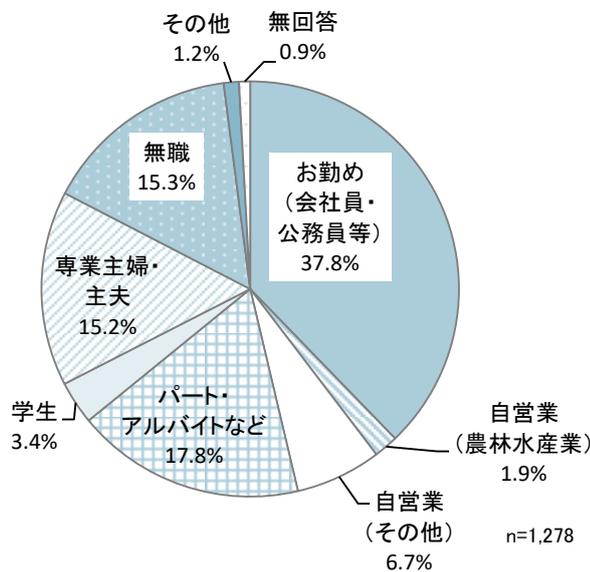
- ・全体結果では、「70歳以上」が20.0%と最も高く、次いで「60歳代」19.8%、「50歳代」17.9%、「40歳代」16.1%、「30歳代」14.4%、「20歳代以下」11.3%であった。
- ・性別では、男性は「70歳以上」が22.3%で最も高く、次いで「60歳代」20.5%、「50歳代」17.3%、「40歳代」15.2%、「30歳代」12.6%、「20歳代以下」11.8%であった。  
女性は「60歳代」が19.4%で最も高く、次いで「50歳代」18.6%、「70歳以上」18.2%、「40歳代」16.8%、「30歳代」15.9%、「20歳代以下」11.0%であった。



		件数	割合 (%)						
			20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
	全体	1,278	11.3	14.4	16.1	17.9	19.8	20.0	0.4
性別	男性	533	11.8	12.6	15.2	17.3	20.5	22.3	0.4
	女性	736	11.0	15.9	16.8	18.6	19.4	18.2	0.0

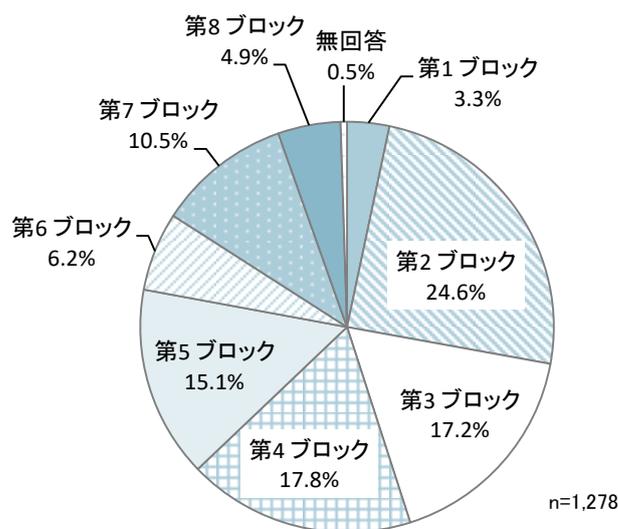
### (3)職業

- ・全体結果では、「お勤め（会社員・公務員等）」が 37.8%で最も高く、次いで「パート・アルバイトなど」17.8%、「無職」15.3%、「専業主婦・主夫」15.2%、「自営業（その他）」6.7%、「学生」3.4%、「自営業（農林水産業）」1.9%であった。
- ・性別では、男性は「お勤め（会社員・公務員等）」が 52.7%で最も高く、次いで「無職」22.9%、「自営業（その他）」9.9%と続いた。女性は「お勤め（会社員・公務員等）」が 27.2%で最も高く、次いで「パート・アルバイトなど」26.5%、「専業主婦・主夫」25.8%と続いた。
- ・年齢別では、60 歳代以下の年代では「お勤め（会社員・公務員等）」が最も高く、これに次いで 20 歳代以下では「学生」、「パート・アルバイトなど」、30 歳代から 60 歳代では「パート・アルバイトなど」、「専業主婦・主夫」の割合が高くなっている。70 歳以上では「無職」が最も高く、次いで「専業主婦・主夫」の割合が高くなっている。



#### (4) 居住地域

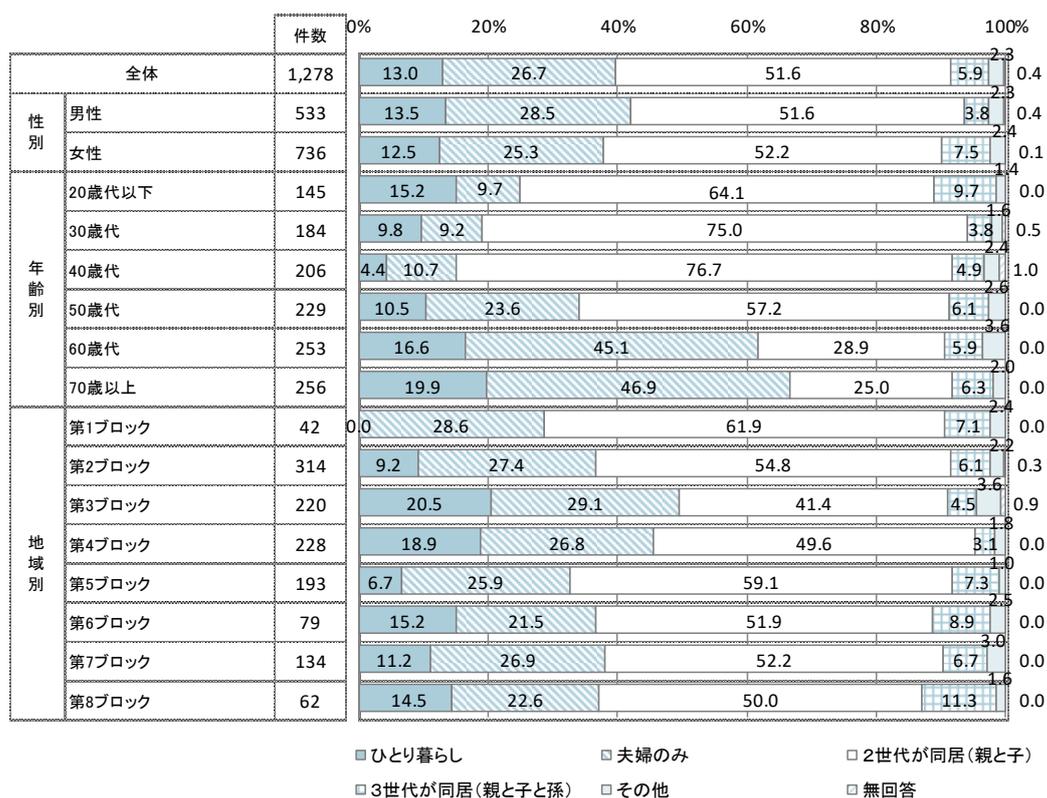
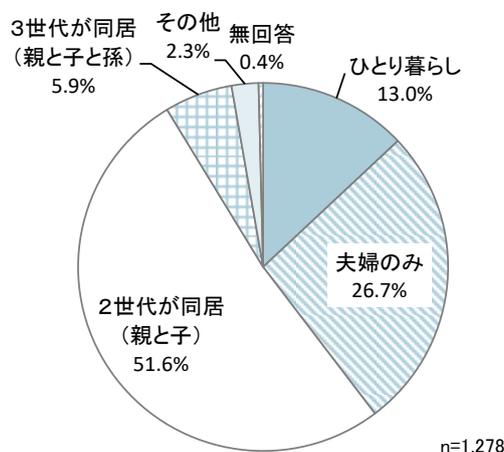
- ・全体結果では、「第2ブロック」の24.6%が最も高く、次いで「第4ブロック」17.8%、「第3ブロック」17.2%、「第5ブロック」15.1%、「第7ブロック」10.5%、「第6ブロック」6.2%、「第8ブロック」4.9%、「第1ブロック」3.3%の順となった。
- ・年齢層をみると、20歳代以下及び30歳代の合計割合は、第1ブロックから第7ブロックでは2割から3割程度、第8ブロックでは1割程度と最も低くなっている。40歳代及び50歳代の合計割合はすべての地域で2割後半から3割後半となっている。60歳代及び70歳以上の合計割合はすべての地域で3割半ばから5割程度となっている。



地域別	件数	年齢層							合計
		20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	
第1ブロック	42	16.7	16.7	16.7	14.3	21.4	14.3	0.0	100.0
第2ブロック	314	12.7	15.0	16.2	20.7	18.8	16.6	0.0	100.0
第3ブロック	220	13.2	15.0	15.5	15.9	19.5	20.9	0.0	100.0
第4ブロック	228	10.5	19.3	15.4	15.8	21.1	18.0	0.0	100.0
第5ブロック	193	7.8	11.9	17.6	18.1	19.2	24.4	1.0	100.0
第6ブロック	79	15.2	8.9	13.9	13.9	22.8	25.3	0.0	100.0
第7ブロック	134	9.7	14.2	17.2	20.1	18.7	19.4	0.7	100.0
第8ブロック	62	6.5	4.8	16.1	22.6	21.0	29.0	0.0	100.0

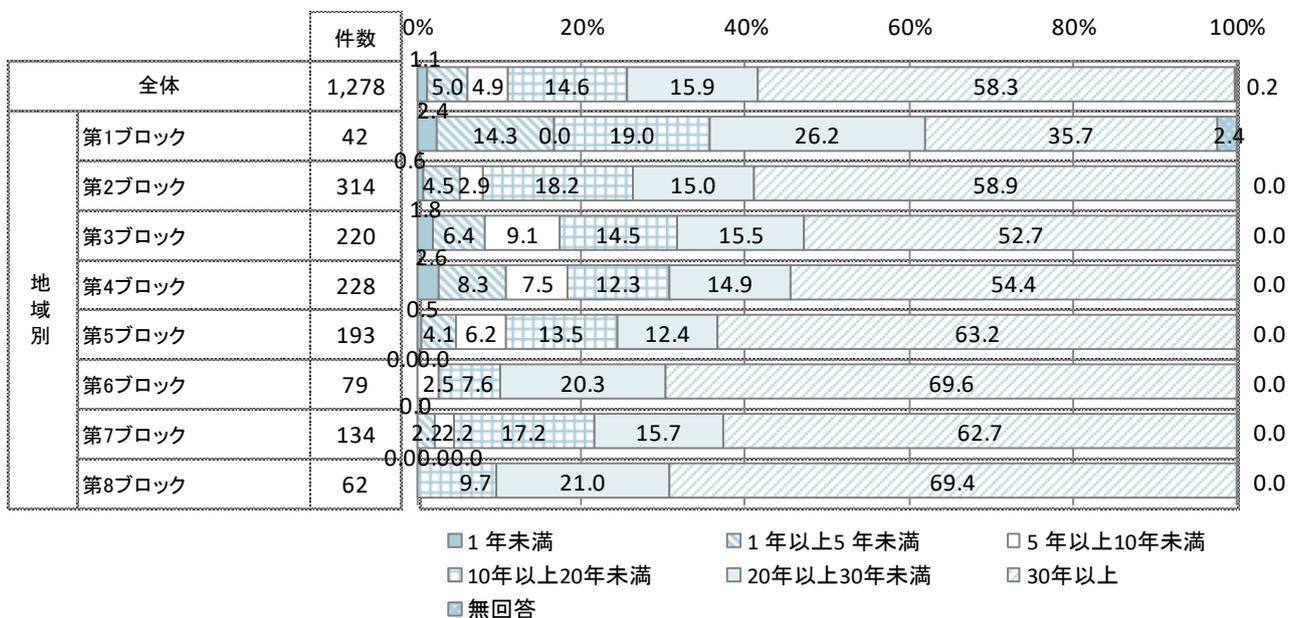
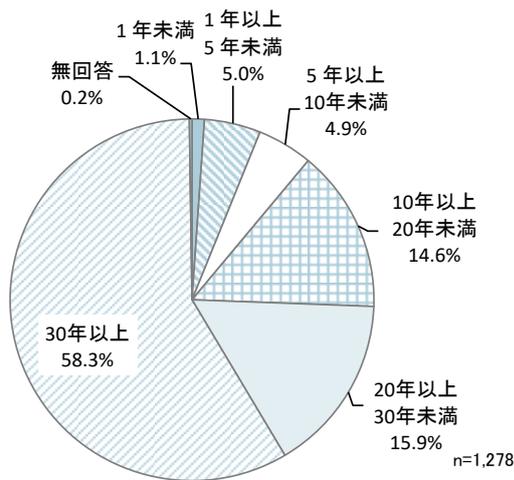
## (5) 家族構成

- ・ 全体結果では、「2世代が同居（親と子）」が51.6%で最も高く、次いで「夫婦のみ」26.7%、「ひとり暮らし」13.0%、「3世代が同居（親と子と孫）」5.9%と続いた。
- ・ 性別では、男女ともに「2世代が同居（親と子）」が最も高く、男性51.6%、女性52.2%となった。次いで「夫婦のみ」「ひとり暮らし」の順で続いた。
- ・ 年齢別では、50歳代以下の年代では「2世代が同居（親と子）」がいずれも半数以上を占め、これに次いで、30歳代以下では「ひとり暮らし」、40歳代及び50歳代では「夫婦のみ」が続いた。60歳代及び70歳以上では「夫婦のみ」がそれぞれ45.1%、46.9%と最も高く、次いで「2世代が同居（親と子）」、「ひとり暮らし」の順で続いた。
- ・ 地域別では、すべての地域で「2世代が同居（親と子）」が4割台から6割台と最も高く、次いで「夫婦のみ」、第1ブロックと第5ブロックでは「3世代が同居（親と子と孫）」、その他の地域では「ひとり暮らし」の順で続いた。



## (6) 居住年数

- ・全体結果では、「30年以上」が58.3%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」15.9%、「10年以上20年未満」14.6%、「1年以上5年未満」5.0%、「5年以上10年未満」4.9%、「1年未満」1.1%の順で続いた。通算20年以上の居住者が74.2%と7割を超えている。
- ・地域別では、第1ブロックでは「30年以上」が35.7%、その他の地域では5割を超えた。次いで、第2ブロック、第5ブロック、第7ブロックを除き「20年以上30年未満」、「10年以上20年未満」の順に続き、第2ブロック、第5ブロック、第7ブロックでは「10年以上20年未満」、「20年以上30年未満」の順に続いた。第6ブロック、第8ブロックでは、通算20年以上の居住者が9割前後にのぼっている。

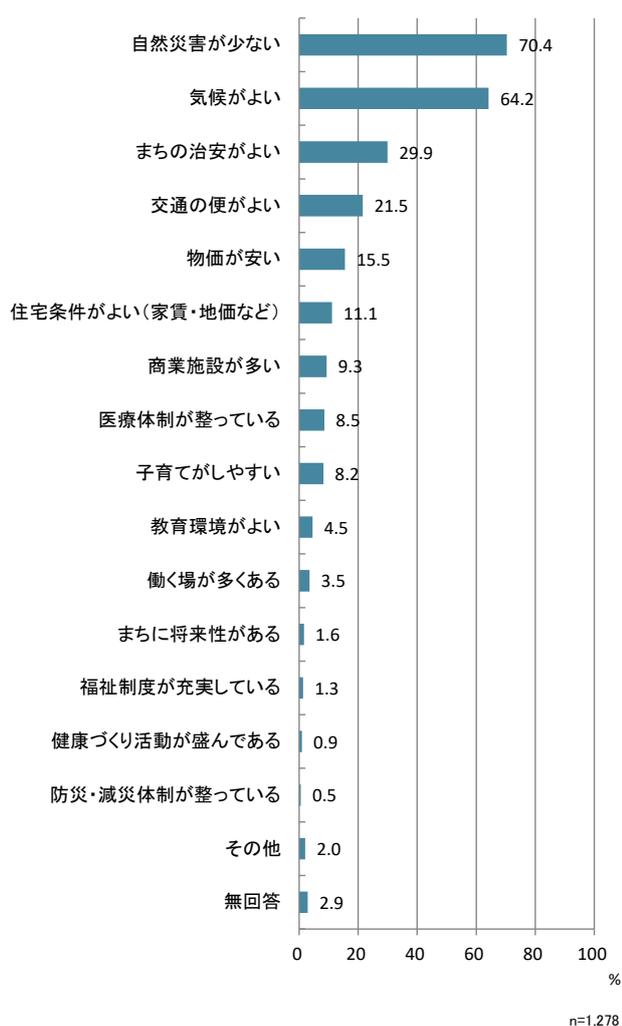


## 2. 松山市での暮らしについて

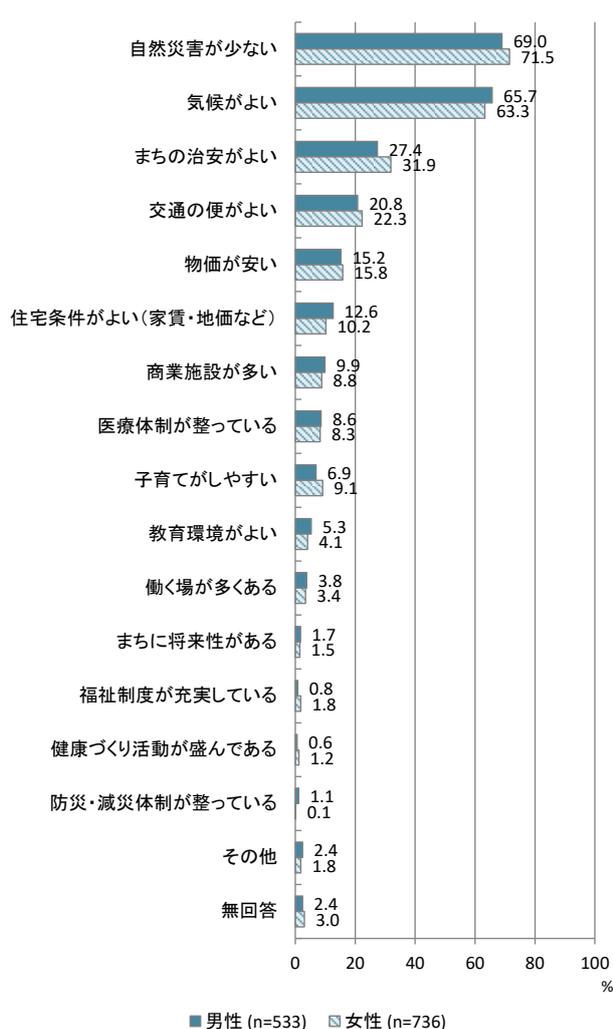
### (1) 松山市のどのようなところを「住みやすい」と感じるか

- ・全体結果では、「自然災害が少ない」（70.4%）と「気候がよい」（64.2%）が特に高く、「まちの治安がよい」（29.9%）、「交通の便がよい」（21.5%）と続いた。
- ・性別では、男女ともに「自然災害が少ない」、「気候がよい」が6割を超えており、この2項目が特に高く、全体結果と同様、「まちの治安がよい」、「交通の便がよい」と続いた。女性は「まちの治安がよい」が31.9%で男性と比べて4.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別では、すべての年代で「自然災害が少ない」が最も高く、50歳代以上では7割を超えている。次いで「気候がよい」についても、すべての年代で5割を超えている。さらに、60歳代以下では「まちの治安がよい」、70歳以上では「交通の便がよい」が続いている。
- ・地域別では、第1ブロックを除くすべてのブロックで「自然災害が少ない」が最も高く、次いで「気候がよい」と続いている。第1ブロックでは「気候がよい」が最も高く、次いで「自然災害が少ない」となっている。3位は、第3ブロックと第4ブロックを除いた地域では「まちの治安がよい」となっており、第6ブロックでは「交通の便がよい」も同率となっている。第3ブロックと第4ブロックでは「交通の便がよい」となっている。

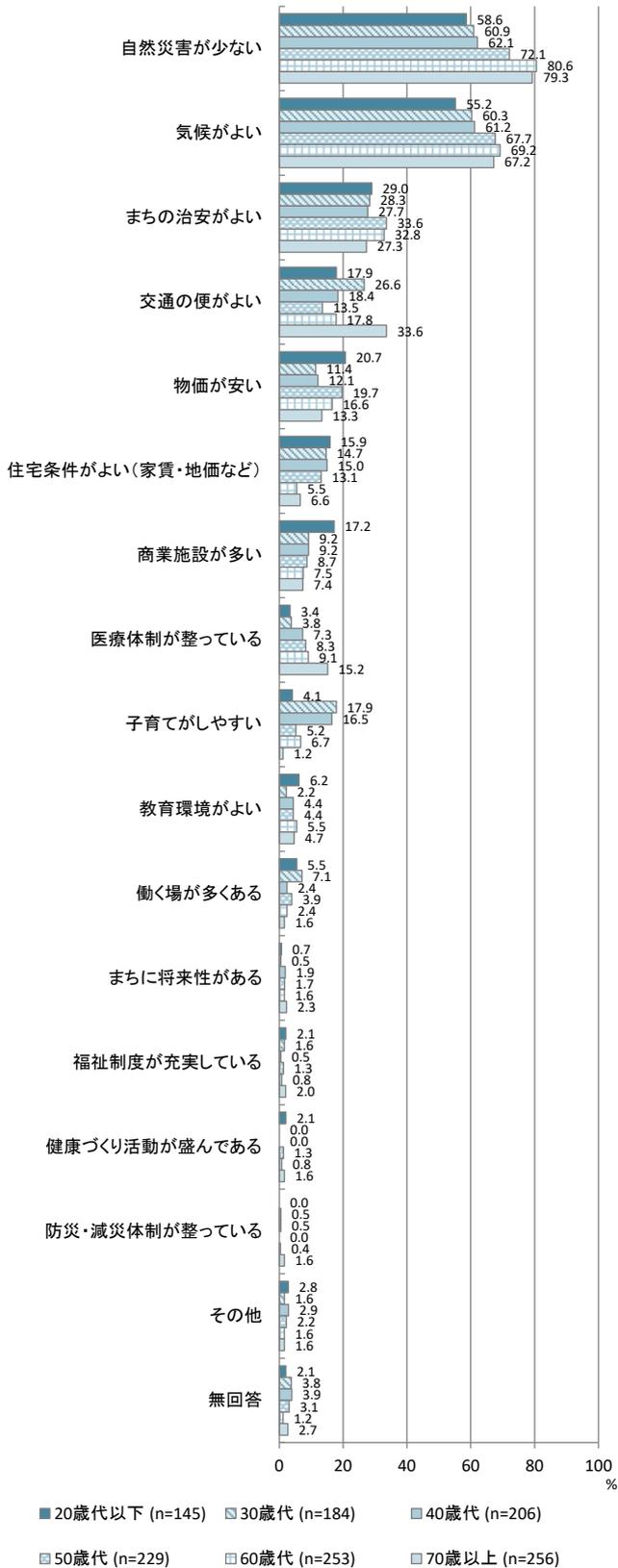
#### <全体>



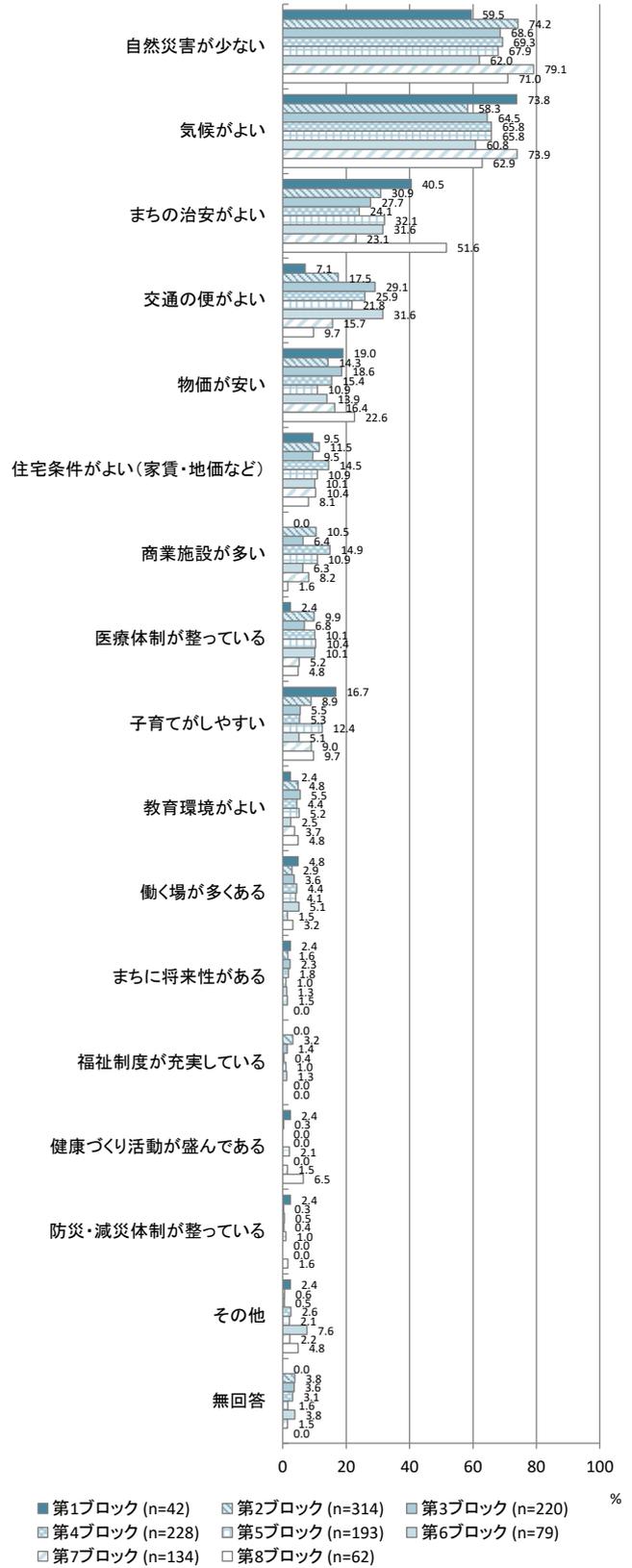
#### <性別>



<年齢別>



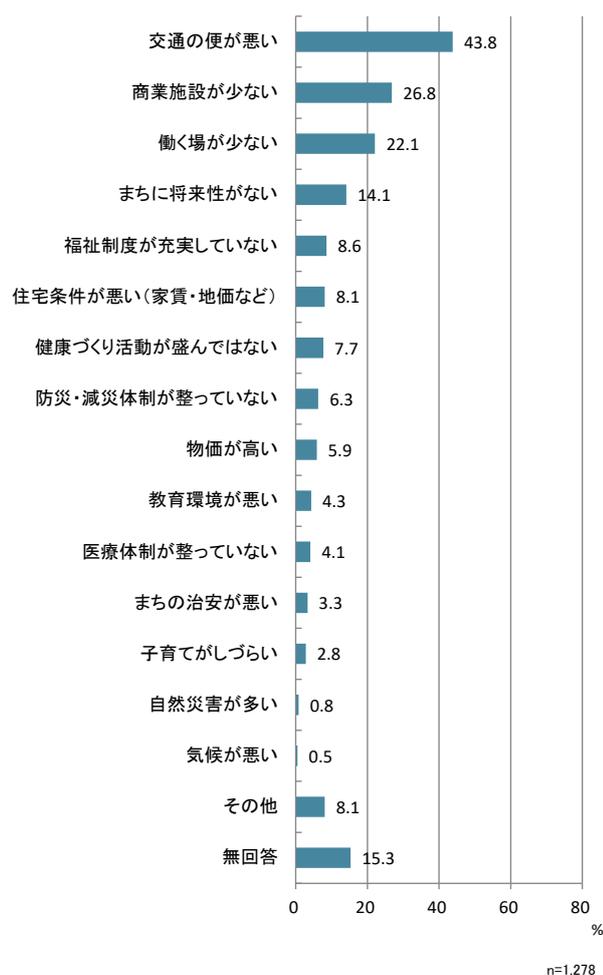
<地域別>



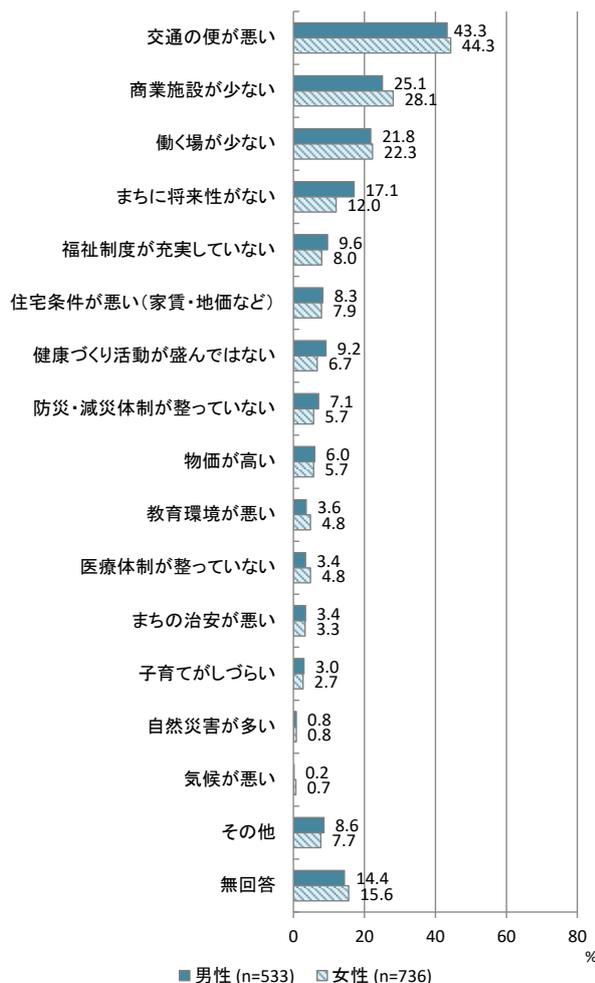
## (2) 松山市のどのようなところを「住みにくい」と感じるか

- ・ 全体結果では、「交通の便が悪い」（43.8％）が最も高く、次いで「商業施設が少ない」（26.8％）、「働く場が少ない」（22.1％）、「まちに将来性がない」（14.1％）、「福祉制度が充実していない」（8.6％）と続いた。
- ・ 性別では、男女ともに「交通の便が悪い」が4割を超え最も高く、全体結果と同様、「商業施設が少ない」、「働く場が少ない」、「まちに将来性がない」の順で続いた。男性は「まちに将来性がない」が17.1％で、女性と比べて5.1ポイント上回った。
- ・ 年齢別では、すべての年代で「交通の便が悪い」が最も高く、特に50歳代では58.5％と半数を超えた。次いで50歳代以下では「商業施設が少ない」、「働く場が少ない」の順で続き、60歳代では「働く場が少ない」、「商業施設が少ない」、70歳以上では「働く場が少ない」、「健康づくり活動が盛んではない」の順で続いた。
- ・ 地域別では、すべての地域で「交通の便が悪い」が最も高く、第7ブロックと第8ブロックでは5割を超えている。次いで、第1ブロックを除いたすべての地域で、「商業施設が少ない」、「働く場が少ない」、「まちに将来性がない」の順で続いた。第1ブロックでは「商業施設が少ない」、「まちに将来性がない」が同率、「働く場が少ない」の順で続いた。

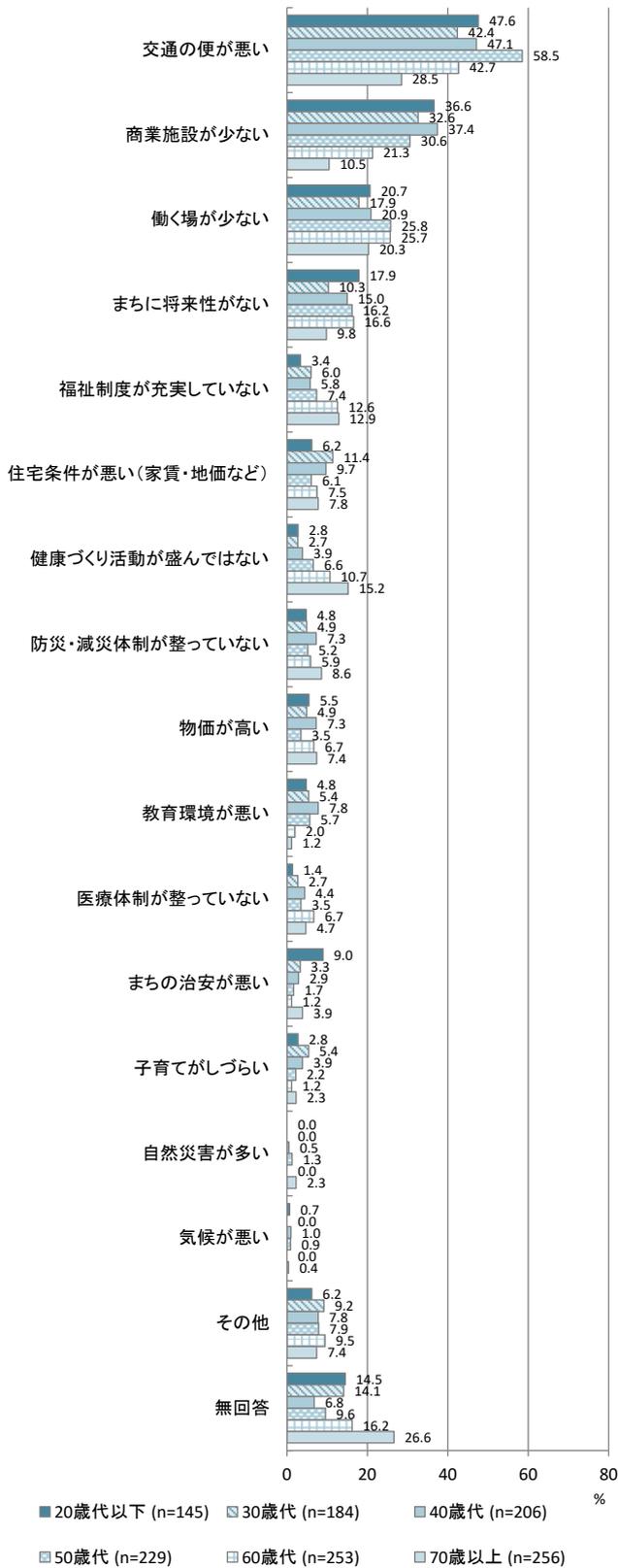
<全体>



<性別>



<年齢別>

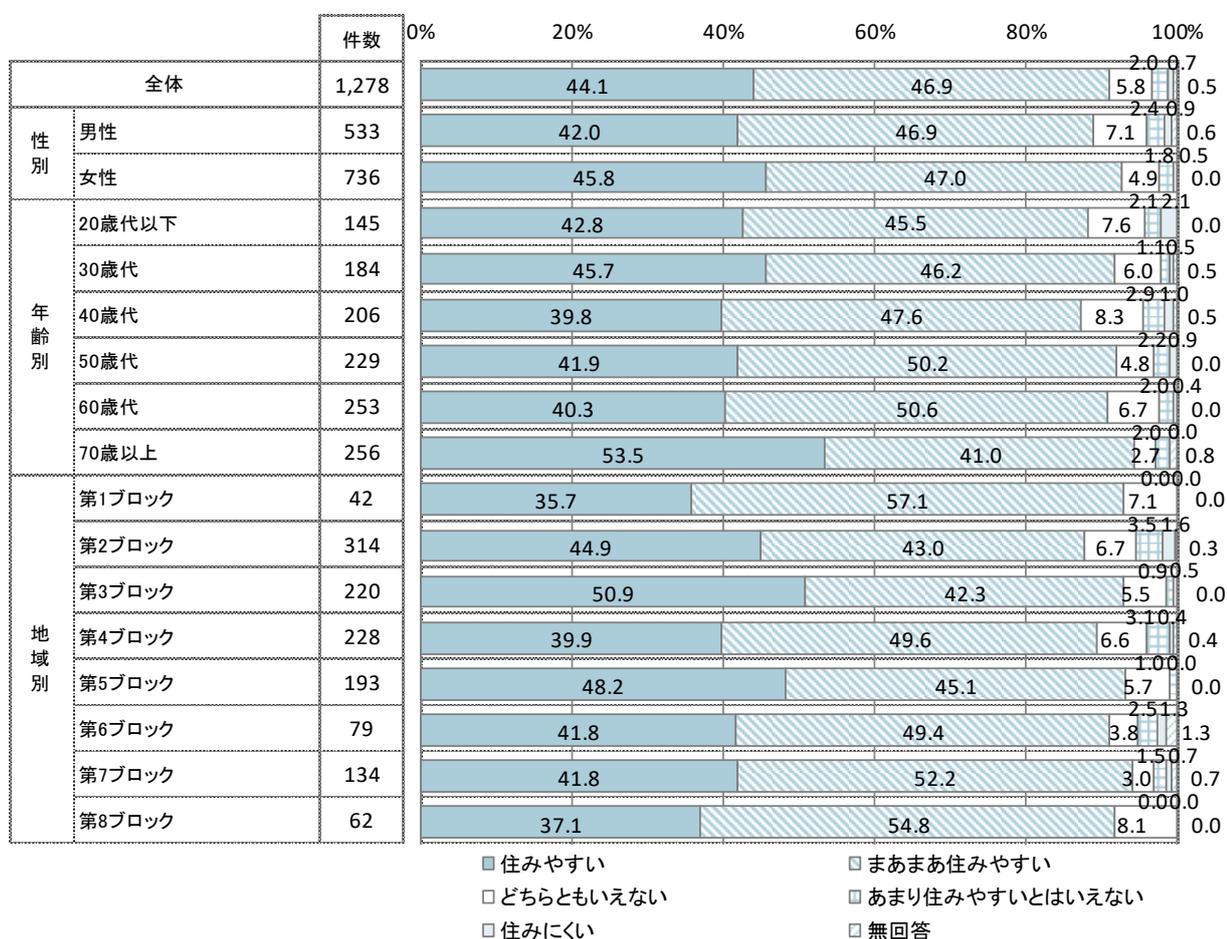


<地域別>



### (3) 松山市は住みやすいまちか

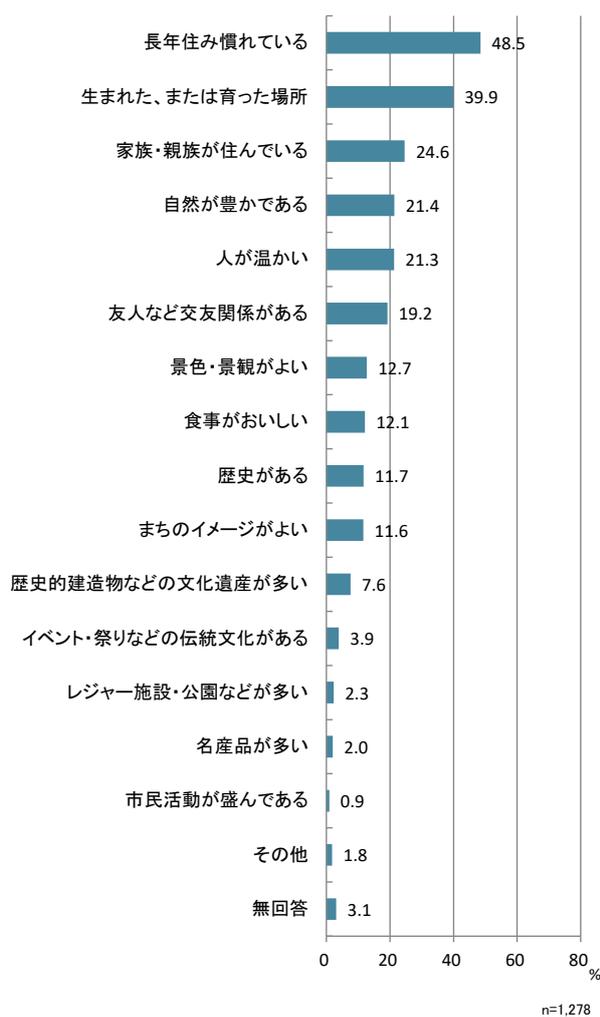
- ・全体結果では、「まあまあ住みやすい」が46.9%で最も高く、次いで「住みやすい」が44.1%と続き、合わせて大半の91.0%が『住みやすい』と感じている。
- ・前年調査時（R1年度）との比較では、『住みやすい』は0.8ポイントの増加となった。そのうち、「住みやすい」は2.3ポイント増加した一方、「まあまあ住みやすい」は1.5ポイント減少となった。
- ・性別では、『住みやすい』は男性88.9%、女性92.8%で、ともに9割前後を占めている。
- ・年齢別では、すべての年代で『住みやすい』が8割を超え、30歳代、50歳以上では9割を超えている。また、唯一70歳以上では「住みやすい」が「まあまあ住みやすい」を12.5ポイント上回っている。
- ・地域別では、すべての地域で『住みやすい』が8割を超え、第2ブロックと第4ブロック以外の地域では9割を超えている。第1ブロックと第8ブロックでは「住みにくい」または「あまり住みやすいとはいえない」と回答した人はいなかった。



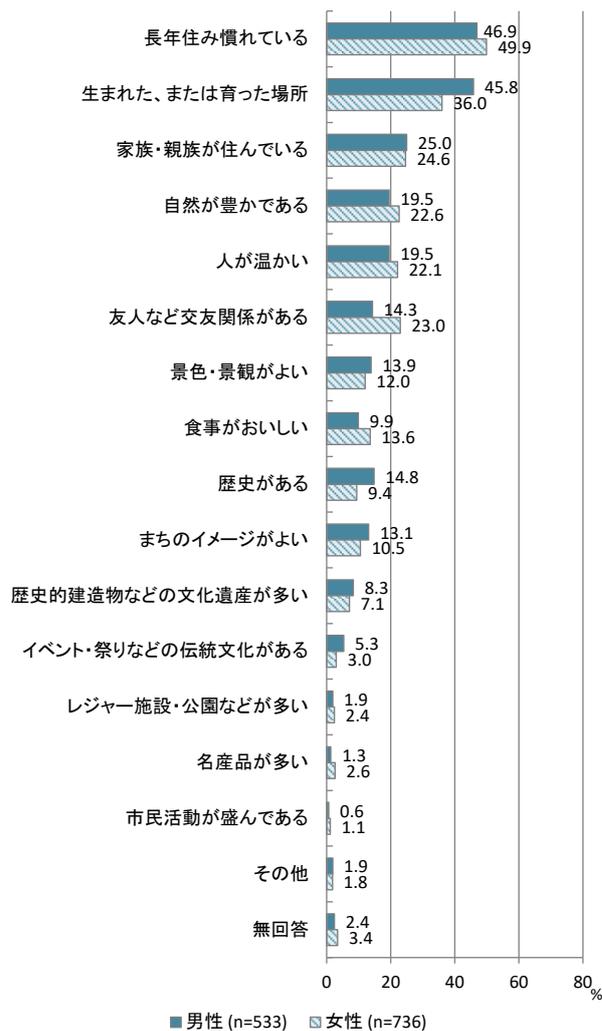
#### (4) 松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じるか

- ・全体結果では、「長年住み慣れている」(48.5%)が最も高く、次いで「生まれた、または育った場所」(39.9%)、「家族・親族が住んでいる」(24.6%)、「自然が豊かである」(21.4%)、「人が温かい」(21.3%)、「友人など交友関係がある」(19.2%)と続いた。
- ・性別では、男女ともに「長年住み慣れている」が4割を超え最も高く、次いで「生まれた、または育った場所」、「家族・親族が住んでいる」と続いた。
- ・年齢別では、30歳代以下では「生まれた、または育った場所」が最も高く、次いで「長年住み慣れている」、「家族・親族が住んでいる」と続いた。40歳代以上では「長年住み慣れている」が最も高く、次いで「生まれた、または育った場所」となり、40歳代と60歳代では「家族・親族が住んでいる」、50歳代では「自然が豊かである」、70歳以上では「人が温かい」の順で続いた。
- ・地域別では、第8ブロックを除いたいずれの地域も「長年住み慣れている」が最も高く、次いで「生まれた、または育った場所」と続いた。第8ブロックでは「自然が豊かである」が最も高く、次いで「長年住み慣れている」と「生まれた、または育った場所」が同率となっている。第8ブロックは「自然が豊かである」が50.0%、「景色・景観がよい」が30.6%と他の地域に比べ高くなっている。

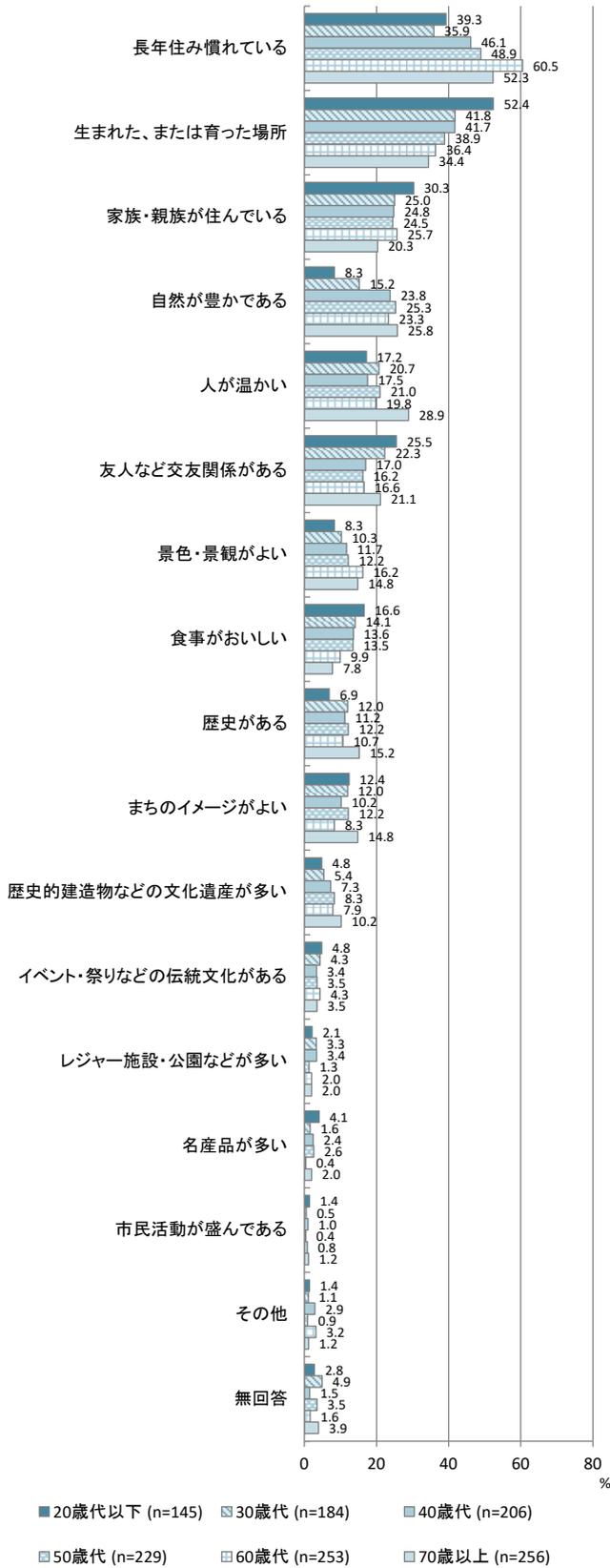
<全体>



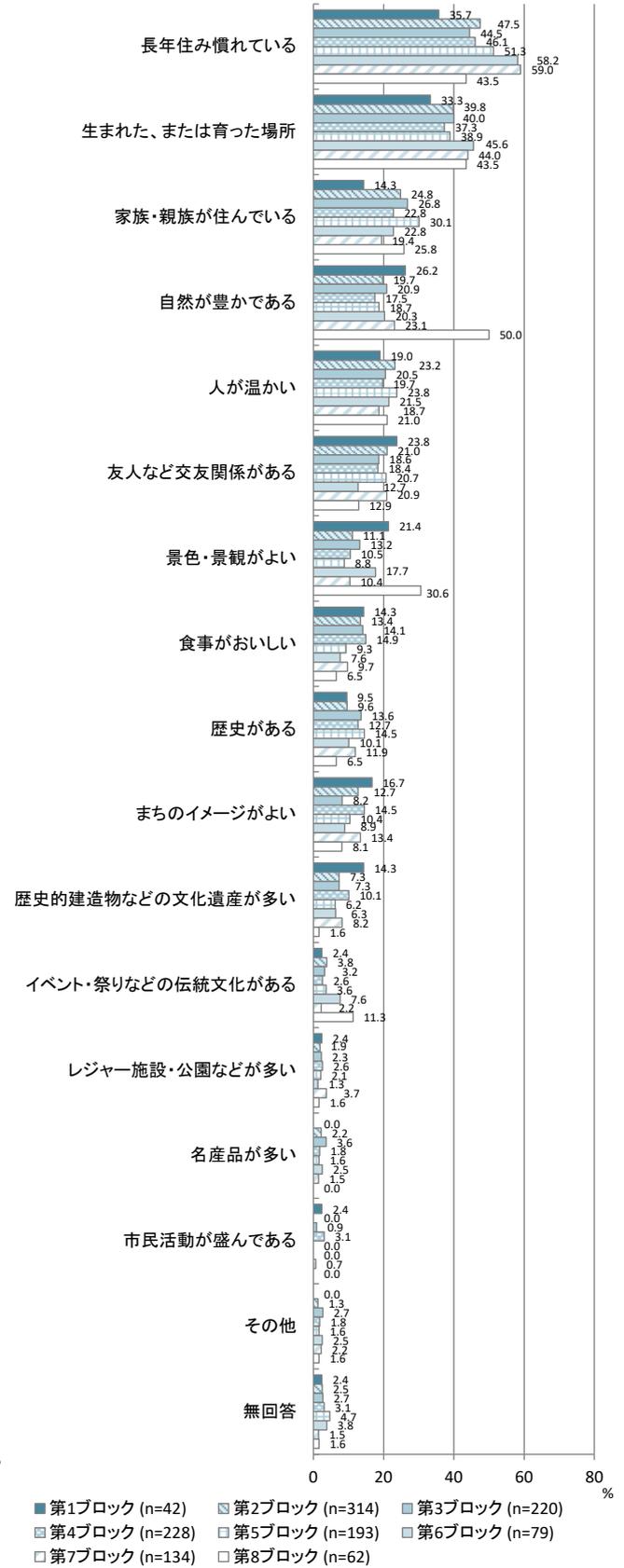
<性別>



<年齢別>



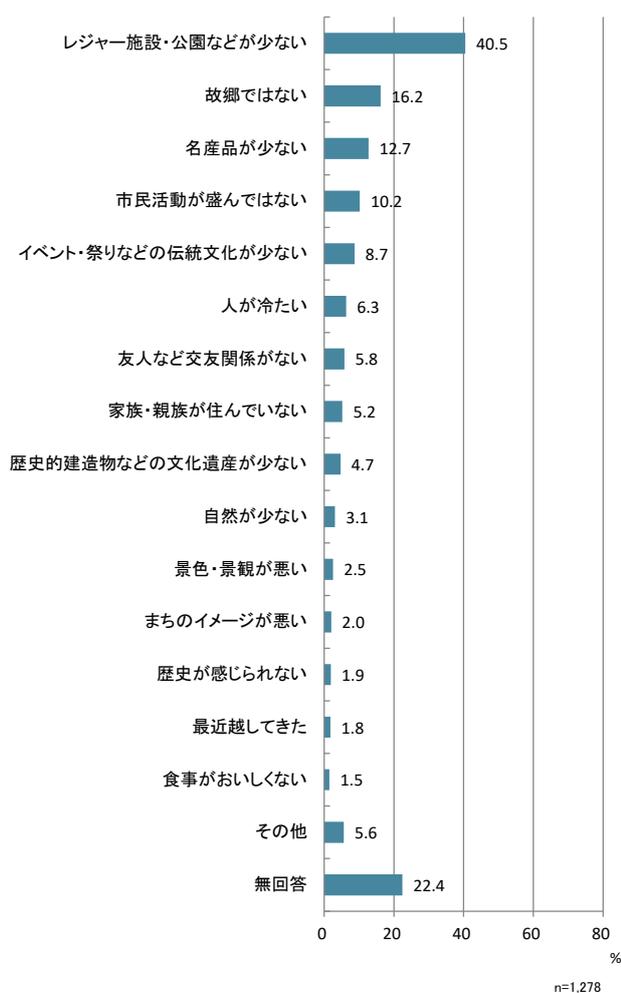
<地域別>



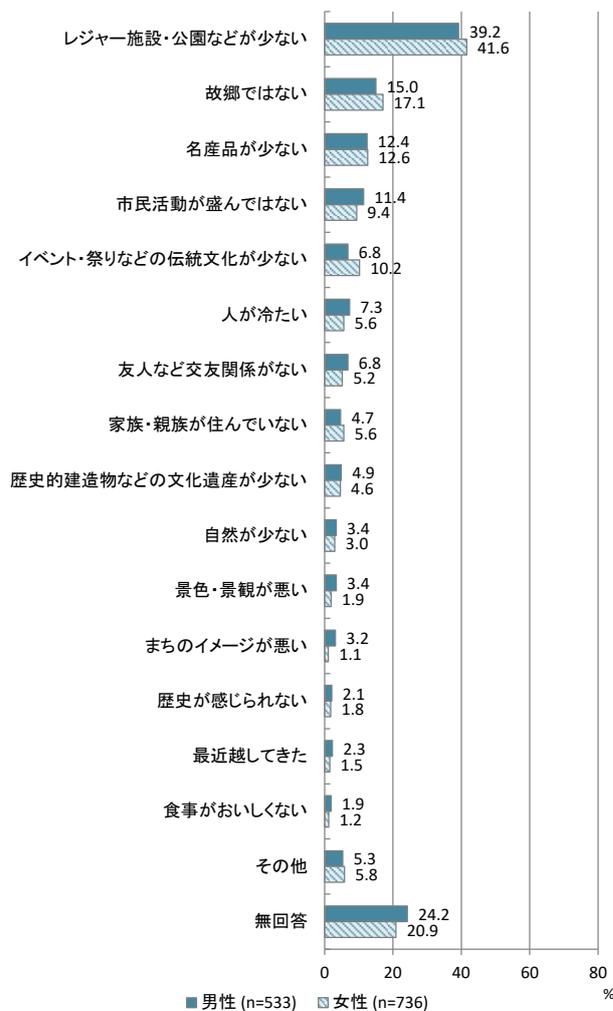
## (5) 松山市のどのようなところに愛着や誇りを感じにくい

- ・全体結果では、「レジャー施設・公園などが少ない」(40.5%)が約4割と最も高い。以下、「故郷ではない」(16.2%)、「名産品が少ない」(12.7%)、「市民活動が盛んではない」(10.2%)、「イベント・祭りなどの伝統文化が少ない」(8.7%)と続いた。
- ・性別では、男女ともに「レジャー施設・公園などが少ない」が4割前後で最も高く、次いで「故郷ではない」、「名産品が少ない」と続いた。
- ・年齢別では、すべての年代で「レジャー施設・公園などが少ない」が最も高く、50歳代以下では4割を超えている。次いで、30歳代から50歳代では「故郷ではない」、「名産品が少ない」、20歳代以下では「イベント・祭りなどの伝統文化が少ない」、「故郷ではない」、60歳代では「市民活動が盛んではない」、「名産品が少ない」、70歳以上では「故郷ではない」、「市民活動が盛んではない」の順に続いた。
- ・地域別では、すべての地域で「レジャー施設・公園などが少ない」が最も高く、特に第6ブロックでは5割を超えている。次いで、第6ブロックを除くすべての地域では「故郷ではない」が続き、第6ブロックでは、「名産品が少ない」が続いた。

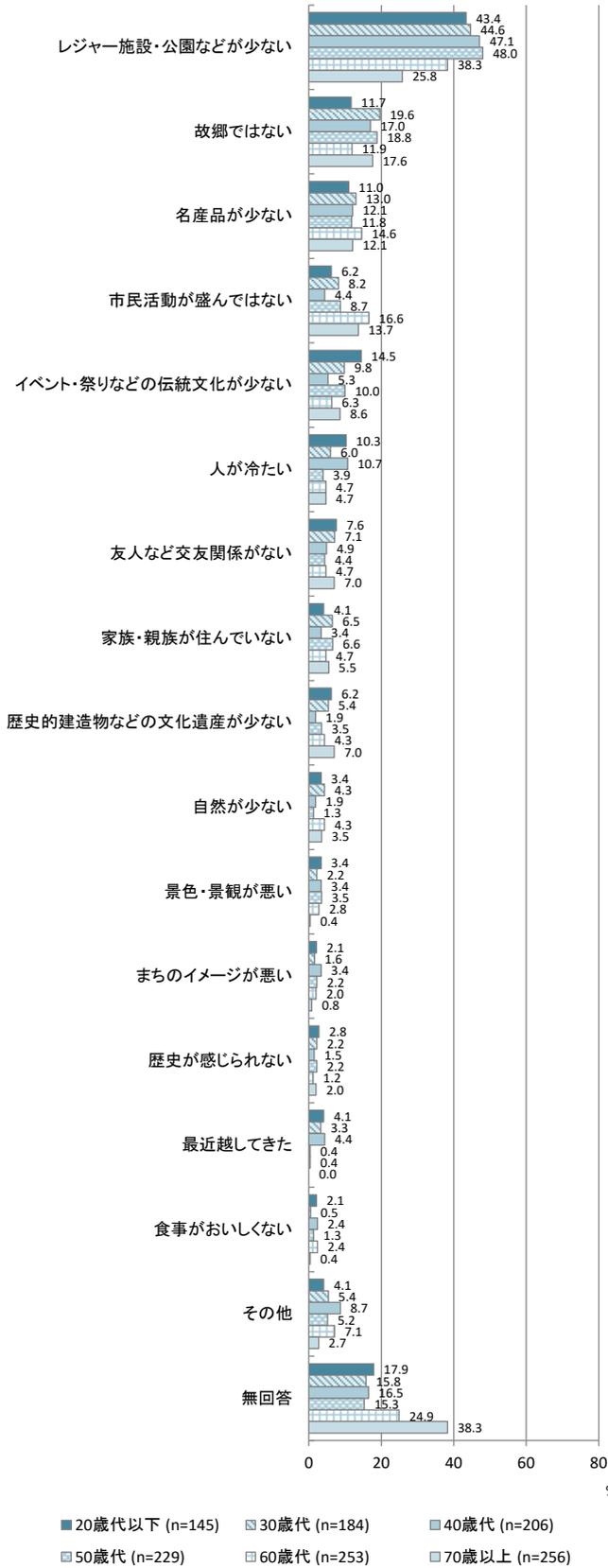
### <全体>



### <性別>



<年齢別>

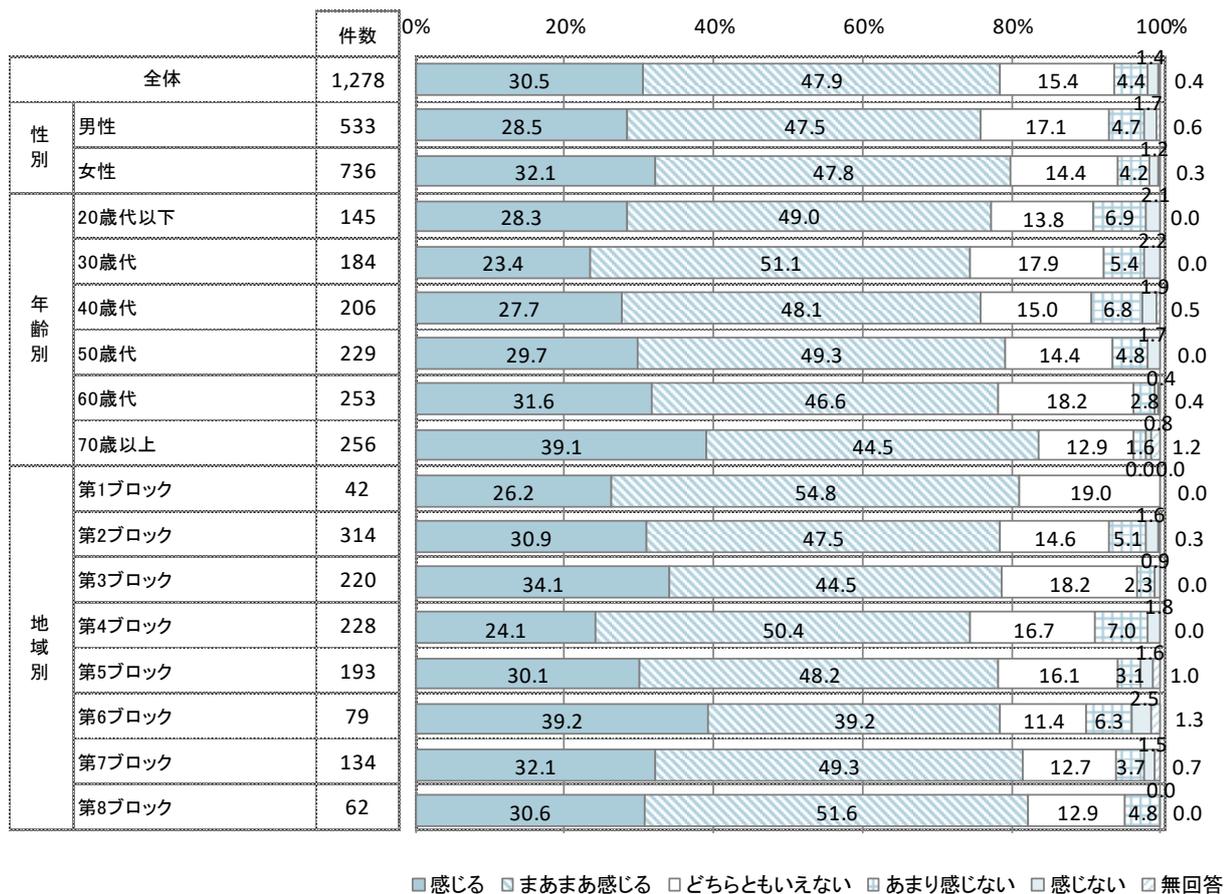


<地域別>



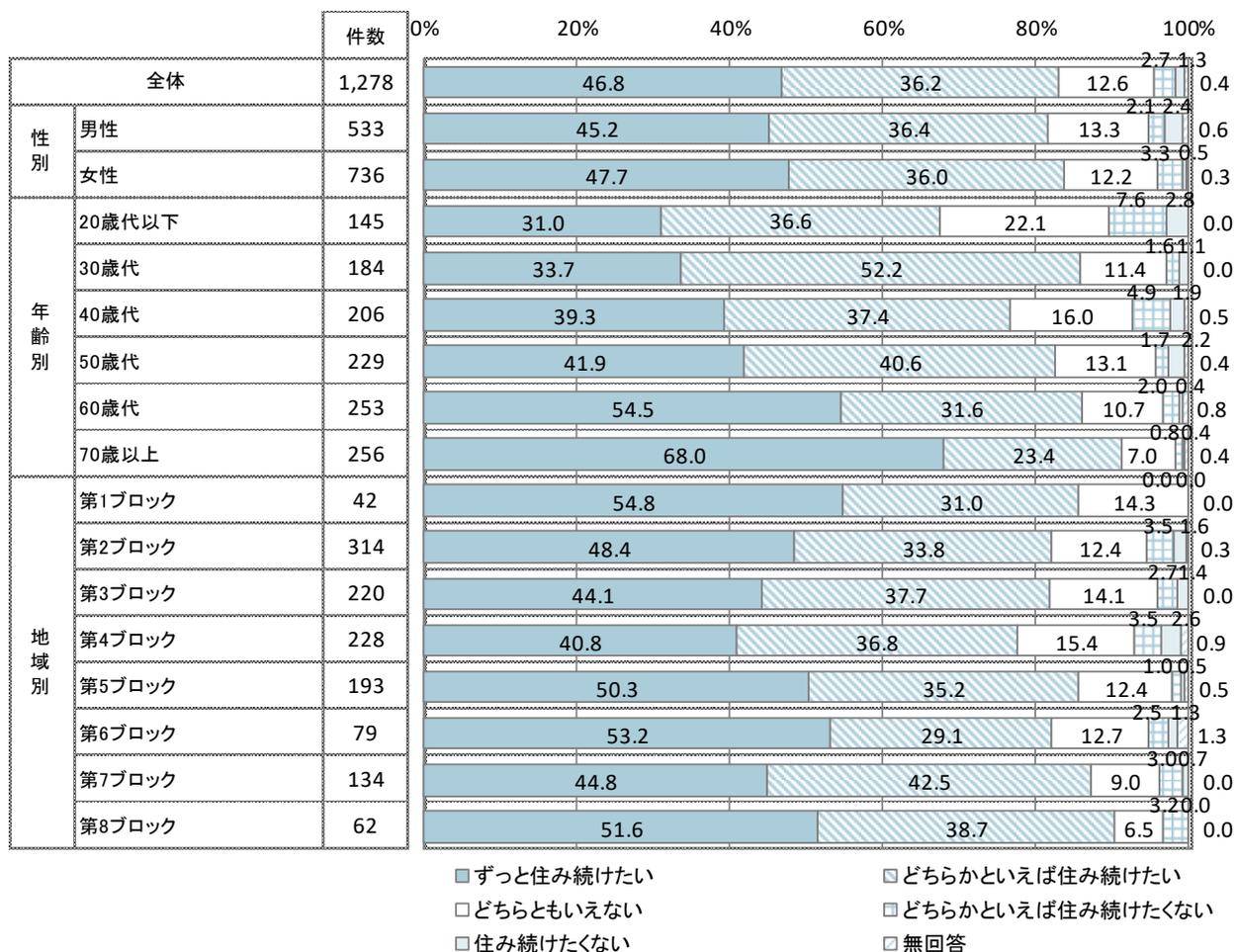
## (6) 松山市に愛着や誇りを感じるか

- ・全体結果では、「まあまあ感じる」が47.9%とほぼ半数を占め、次いで「感じる」が30.5%、合わせて78.4%が『感じる』と回答している。「どちらともいえない」は15.4%だった。「あまり感じない」は4.4%、「感じない」は1.4%で、合わせて5.8%が『感じない』と回答した。
- ・性別では、『感じる』は男性76.0%、女性79.9%で、ともに8割近くになっている。
- ・年齢別では、すべての年代で『感じる』が7割を超え、特に70歳以上では8割を超えている。
- ・地域別では、すべての地域で『感じる』が7割を超え、第1ブロック、第7ブロック、第8ブロックでは8割を超えている。



### (7) 今後も松山市に住み続けたいか

- ・全体結果では、「ずっと住み続けたい」が 46.8%と半数近くを占め、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が 36.2%と続き、合わせて大半の 83.0%が『住み続けたい』と回答している。
- ・前年調査時（R1 年度）との比較では、『住み続けたい』は 1.0 ポイントの増加となった。そのうち「ずっと住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」ともに 0.5 ポイント増加した。
- ・性別では、『住み続けたい』は男性 81.6%、女性 83.7%で、ともに 8 割以上となっている。
- ・年齢別では、30 歳代以上で『住み続けたい』は 7 割を超え、特に 70 歳以上では 9 割を超えている。一方、20 歳代以下では『住み続けたい』は 67.6%で、「どちらともいえない」が 22.1%と他の年代に比べて高くなっている。
- ・地域別では、すべての地域で「ずっと住み続けたい」が最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が続き、すべての地域で『住み続けたい』は 7 割を超えた。特に第 8 ブロックでは 9 割を超えている。

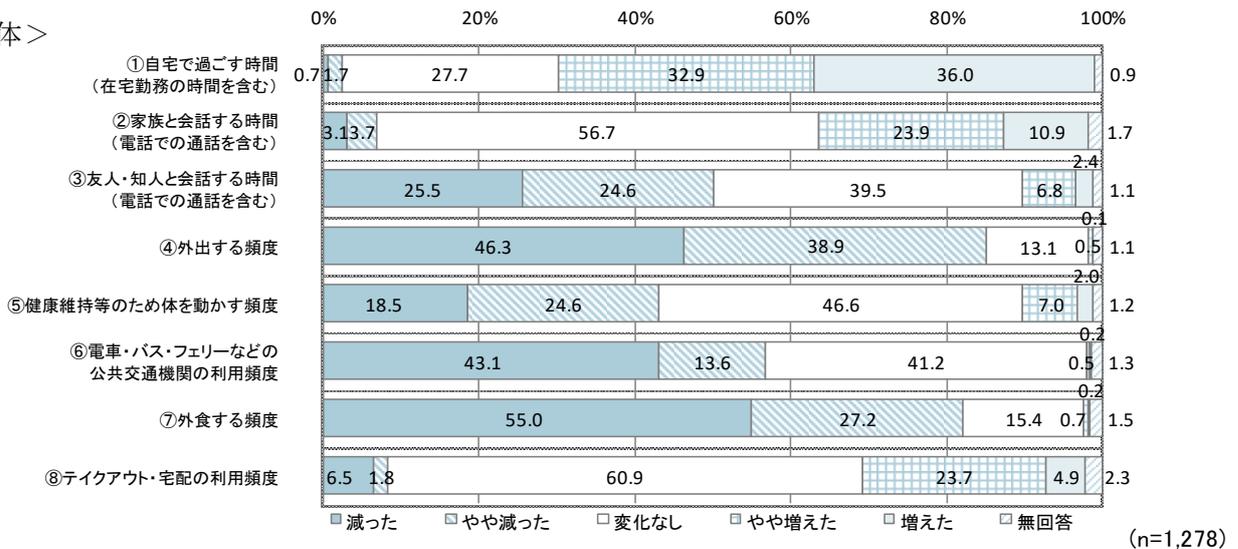


### 3. 新型コロナウイルスについて

#### (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大による生活の変化

- ・全体結果の「減った」と「やや減った」を合わせた『減った』の割合は<④外出する頻度> (85.2%)、<⑦外食する頻度> (82.2%) で8割を超え、以下、<⑥電車・バス・フェリーなどの公共交通機関の利用頻度> (56.7%)、<③友人・知人と会話する時間> (50.1%)、<⑤健康維持等のため体を動かす頻度> (43.1%) の順で高かった。
- ・「増えた」と「やや増えた」を合わせた『増えた』の割合は<①自宅で過ごす時間> (68.9%) で7割近くなり、以下、<②家族と会話する時間> (34.8%)、<⑧テイクアウト・宅配の利用頻度> (28.6%) の順で高かった。

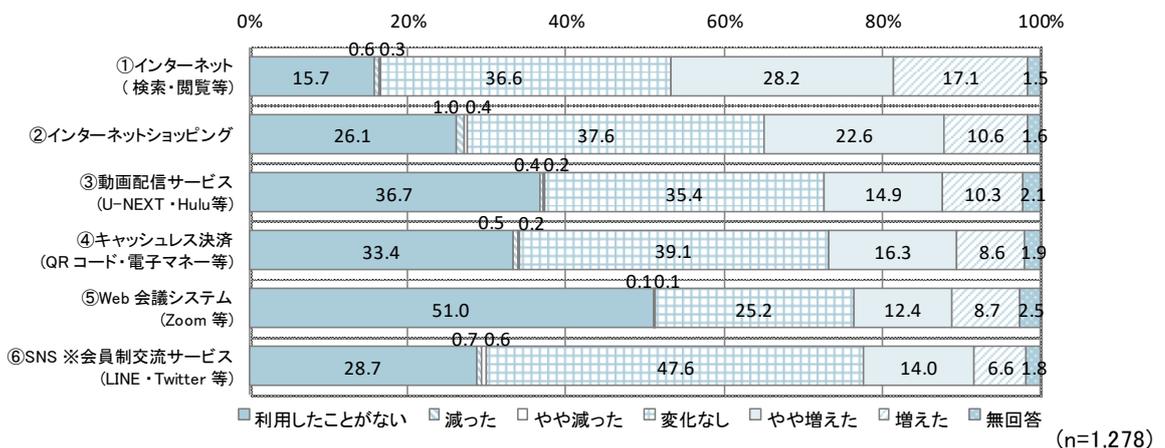
<全体>



#### (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大によるデジタルツールの利用頻度の変化

- ・全体結果の「増えた」と「やや増えた」を合わせた『増えた』の割合は<①インターネット> (45.3%) で4割半ばとなり、以下、<②インターネットショッピング> (33.2%)、<③動画配信サービス> (25.2%)、<④キャッシュレス決済> (24.9%)、<⑤Web 会議システム> (21.1%)、<⑥SNS> (20.6%) の順で高かった。
- ・「変化なし」の割合は、<⑥SNS> (47.6%) で半数弱となった。<⑥SNS>以外はいずれも2~3割台であった。
- ・「利用したことがない」の割合は、<⑤Web 会議システム> (51.0%) で半数を超えた。<⑤Web 会議システム>以外はいずれも1~3割台であった。

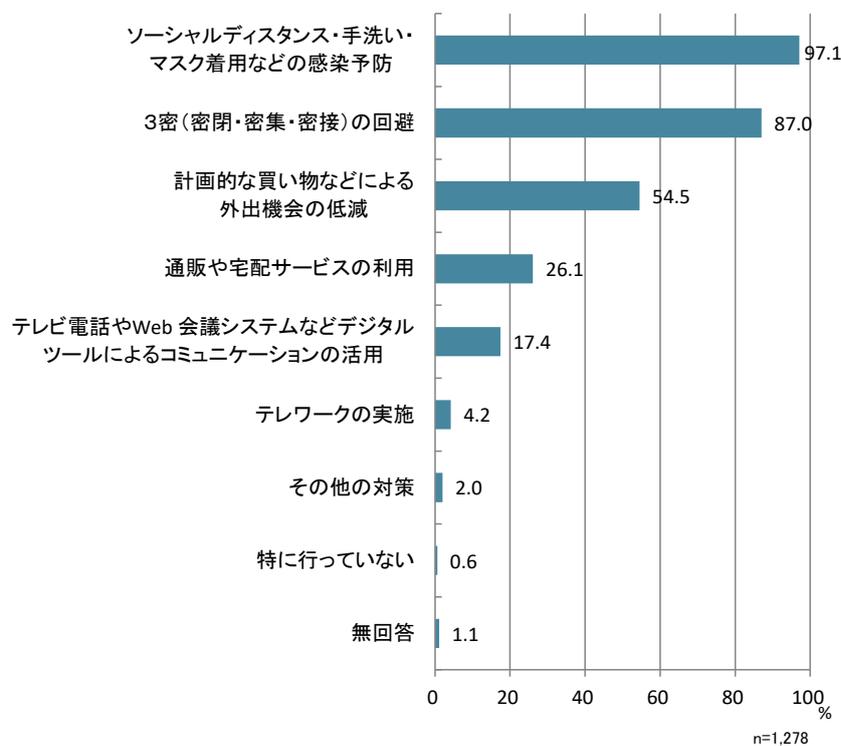
<全体>



### (3) 新型コロナウイルス感染症の対策

- ・全体結果では、「ソーシャルディスタンス・手洗い・マスク着用などの感染予防」が 97.1%と最も高く、次いで「3密（密閉・密集・密接）の回避」87.0%、「計画的な買い物などによる外出機会の低減」54.5%、「通販や宅配サービスの利用」26.1%、「テレビ会議やWeb会議システムなどデジタルツールによるコミュニケーションの活用」17.4%と続いた。

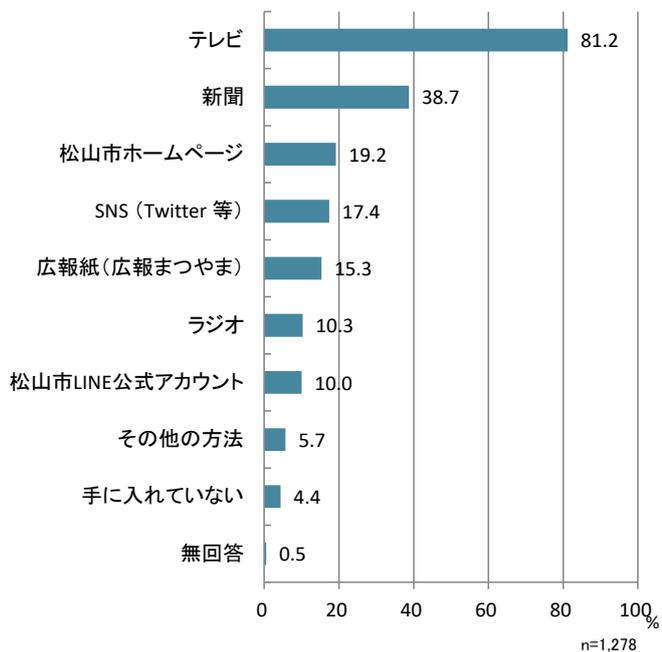
<全体>



### (4) 新型コロナウイルス感染症についての情報源

- ・全体結果では、「テレビ」が 81.2%と最も高く、次いで「新聞」38.7%、「松山市ホームページ」19.2%、「SNS (Twitter 等)」17.4%、「広報紙 (広報まつやま)」15.3%と続いた。

<全体>

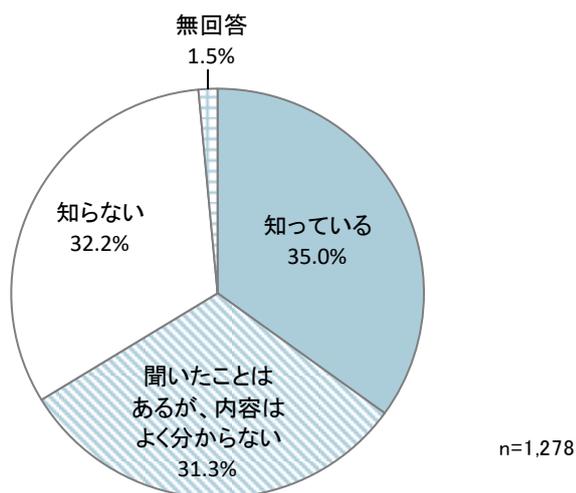


## 4. 介護保険について

### (1)「地域包括支援センター」を知っているか

- ・全体結果では、「知っている」が 35.0%と最も高く、「知らない」が 32.2%、「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」が 31.3%と続いた。

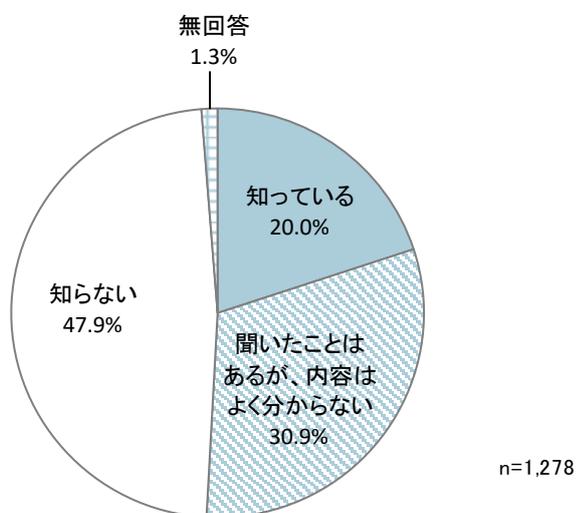
<全体>



### (2)「地域包括ケアシステム」を知っているか

- ・全体結果では、「知らない」が 47.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」が 30.9%、「知っている」が 20.0%と続いた。

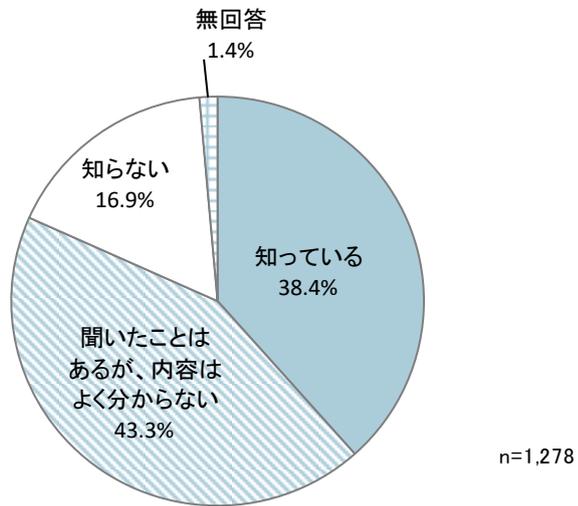
<全体>



### (3)「在宅医療」を知っているか

- ・全体結果では、「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」が 43.3%と最も高く、次いで「知っている」が 38.4%、「知らない」が 16.9%と続いた。

<全体>

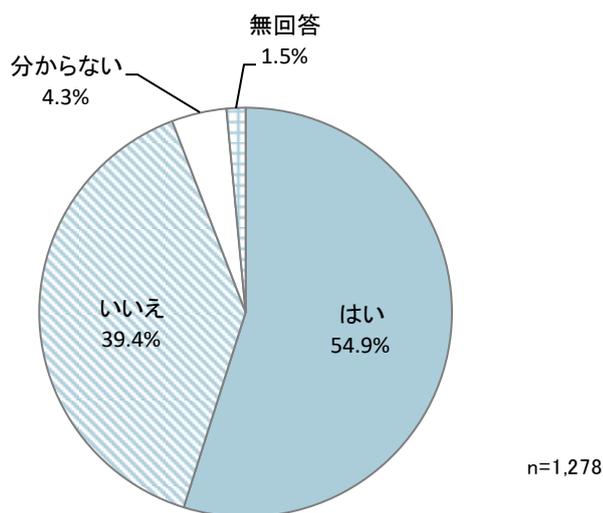


## 5. 松山市からの新しい情報発信について

### (1)「LINE」の利用状況

- ・全体結果では、「はい」が54.9%と最も高く、半数を上回った。次いで「いいえ」が39.4%、「分からない」が4.3%と続いた。

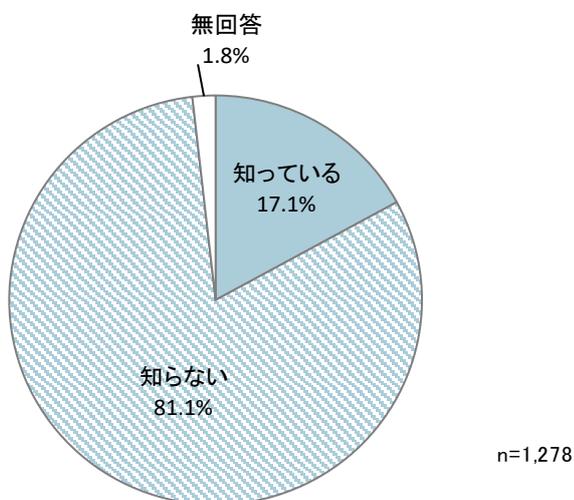
<全体>



### (2) 松山市 LINE 公式アカウント開設を知っているか

- ・全体結果では、「知らない」が81.1%と8割を超え、「知っている」が17.1%であった。

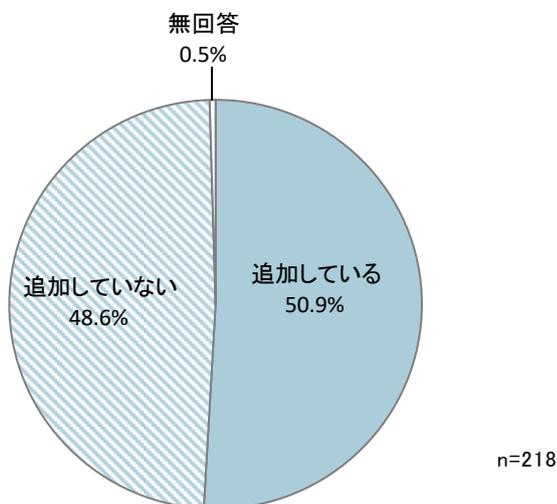
<全体>



### (3) 松山市 LINE 公式アカウントを友だちに追加しているか

- ・全体結果では、「追加している」が 50.9%で、「追加していない」の 48.6%をわずかに上回った。

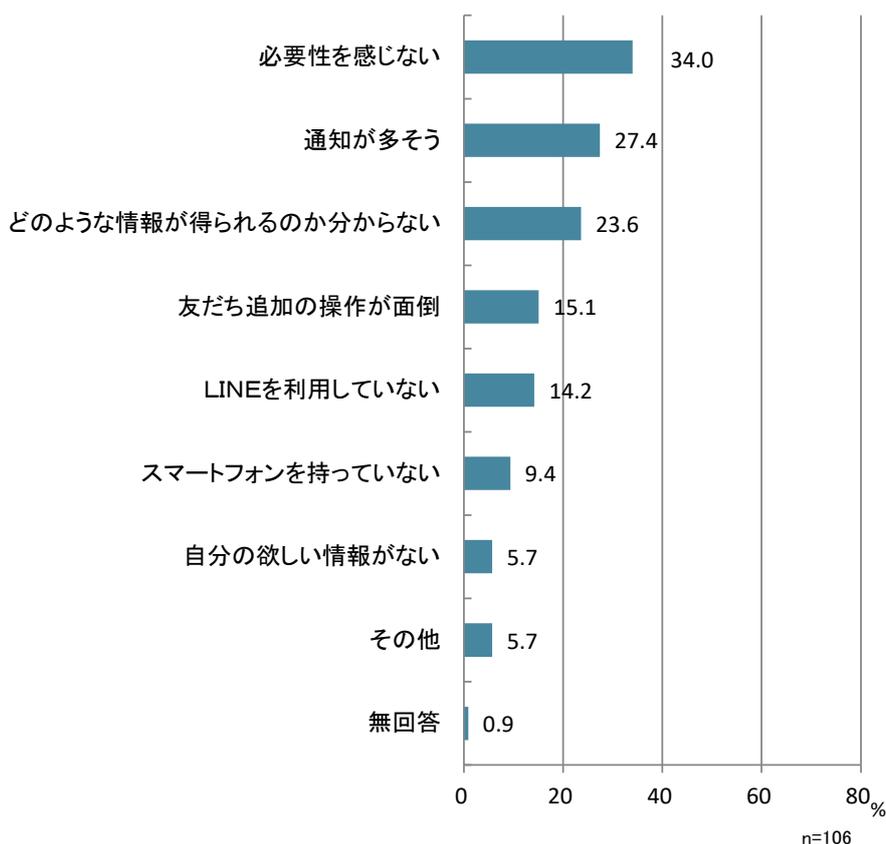
<全体>



### (4) 松山市 LINE 公式アカウントを友だちに追加していない理由

- ・全体結果では、「必要性を感じない」が 34.0%と最も高く、次いで「通知が多そう」27.4%、「どのような情報が得られるのか分からない」23.6%、「友だち追加の操作が面倒」15.1%、「LINE を利用していない」14.2%の順で続いた。

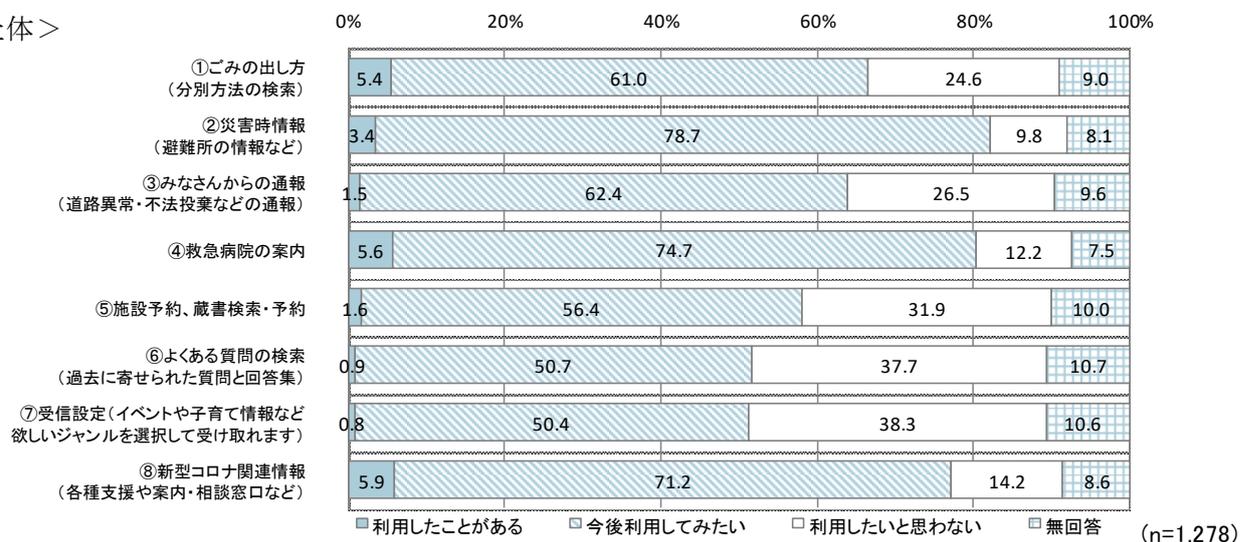
<全体>



## (5) 松山市 LINE 公式アカウントの利用状況

- ・全体結果の「利用したことがある」の割合は、最も高い<⑧新型コロナ関連情報>でも 5.9%に留まり、いずれも 1 割を下回った。
- ・「今後利用してみたい」の割合は、<②災害時情報> (78.7%)、<④救急病院の案内> (74.7%)、<⑧新型コロナ関連情報> (71.2%) で 7 割を超え、以下、<③みなさんからの通報> (62.4%)、<①ごみの出し方> (61.0%)、<⑤施設予約、蔵書検索・予約> (56.4%)、<⑥よくある質問の検索> (50.7%)、<⑦受信設定> (50.4%) の順で高かった。

<全体>



## (6) 松山市 LINE 公式アカウントに追加してほしい情報や機能

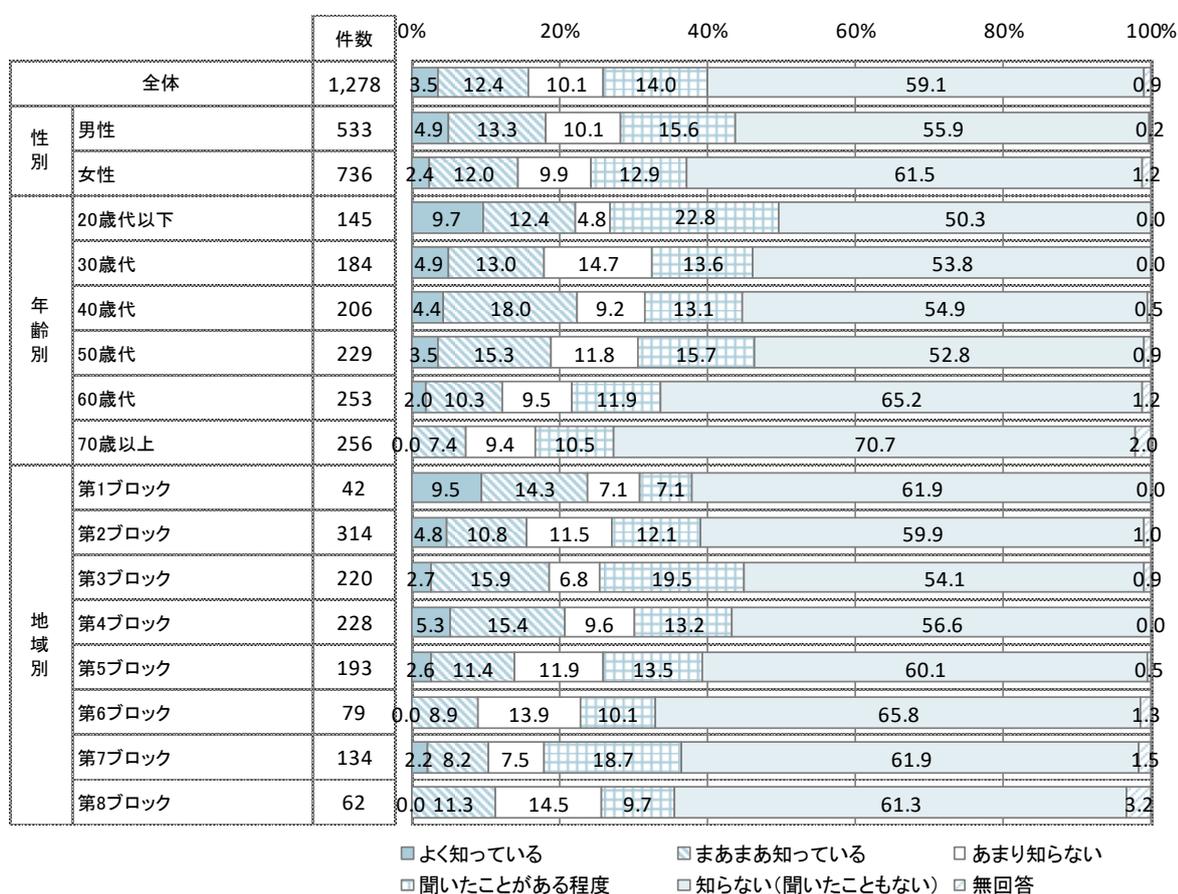
<自由回答 (抜粋)>

- ・公共施設の利用に関する情報。営業時間や休館日など。
- ・子育て情報。(保育園など)
- ・医療、福祉サービスの情報。
- ・求人情報。
- ・休校等の情報。
- ・新型コロナウイルス関連情報。
- ・災害発生情報。
- ・不審者情報。
- ・イベント情報。
- ・主要な商業施設の混雑状況。
- ・交通情報。渋滞情報や災害などによる交通規制情報、運行情報など。
- ・各種給付金、補助金、確定申告の案内など。
- ・粗大ごみの回収申し込み。
- ・市役所などで行う手続きが LINE で行えると嬉しい。
- ・今回のようなアンケートも紙媒体だけでなく電子でも回答できれば良いのと思う。
- ・公民館からスピーカー放送している内容を LINE で連絡してほしい。
- ・飲食店と連携して、クーポンやサービス、営業情報などの提供を行ってほしい。
- ・高齢者にも分かりやすい機能にしてほしい。
- ・愛媛のスポーツの大会結果。
- ・まちづくりに対する要望。
- ・広報まつやまのバックナンバーの閲覧。移住者の声。
- ・時期に応じた市内の見どころスポット紹介など。
- ・天気情報。
- ・駐車場のある公園の情報。
- ・市への要望。

## 6. SDGs(エスディーゼーズ)について

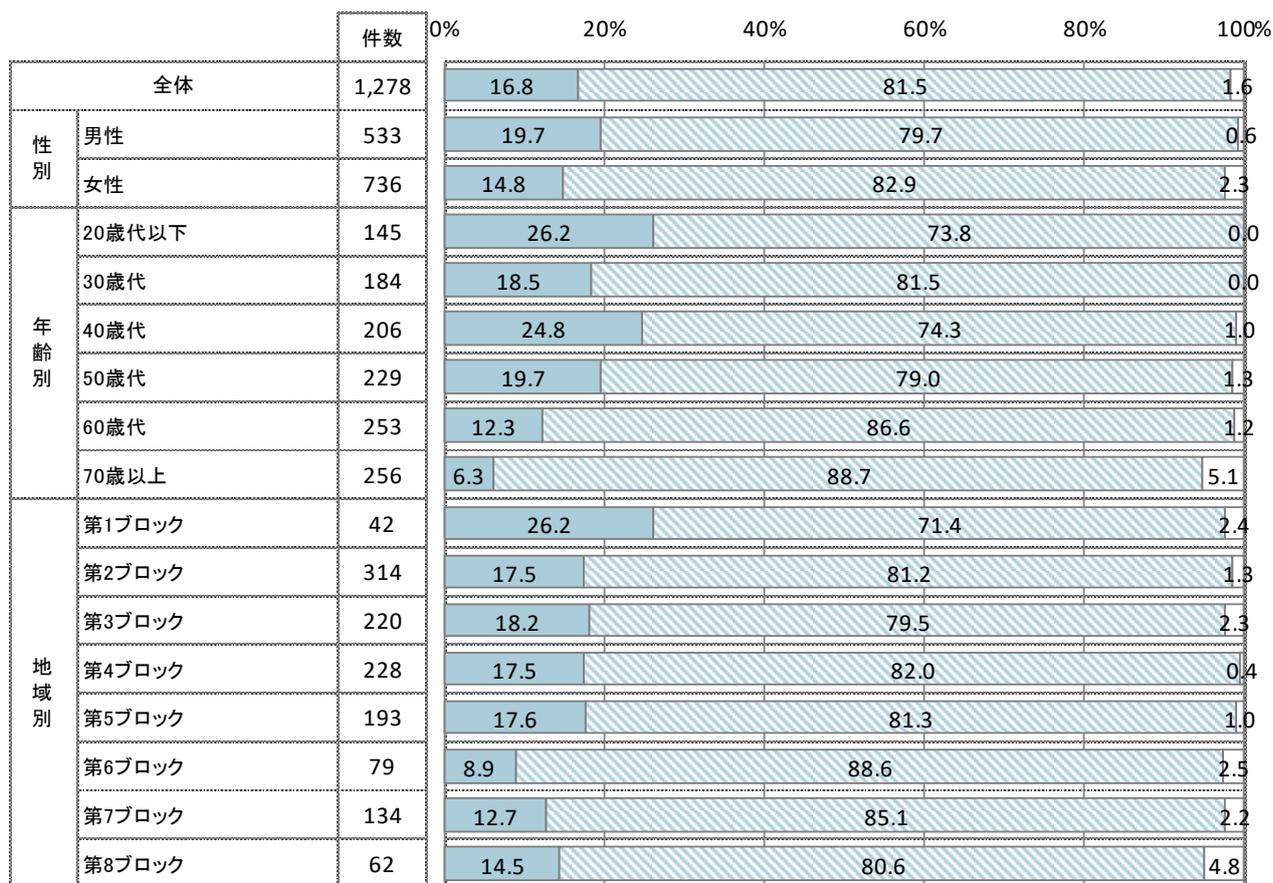
### (1) SDGsについて知っているか

- ・全体結果では、「知らない（聞いたこともない）」が 59.1%と最も高く、次いで「聞いたことがある程度」14.0%、「まあまあ知っている」12.4%と続いた。「よく知っている」と「まあまあ知っている」を合わせた『知っている』は 15.9%となっている。
- ・性別では、男女ともに「知らない（聞いたこともない）」が最も高いものの、男性 55.9%、女性 61.5%となり、男性が女性を 5.6 ポイント下回った。次いで、男女ともに「聞いたことがある程度」、「まあまあ知っている」の順で続いた。
- ・年齢別では、すべての年代で「知らない（聞いたこともない）」が最も高く、60 歳代では 6 割を超え、70 歳以上では 7 割を超えている。
- ・地域別では、すべての地域で「知らない（聞いたこともない）」が 5 割台から 6 割台と、最も高い。「よく知っている」と「まあまあ知っている」を合わせた『知っている』は第 1 ブロック、第 4 ブロックで 2 割を超えている。



## (2) SDGsの活動について知っているか

- ・全体結果では、「知らない」が81.5%と8割を超え、「知っている」が16.8%であった。
- ・性別では、「知らない」が男性79.7%、女性82.9%で、男性が女性を3.2ポイント下回っている。
- ・年齢別では、すべての年代で「知らない」が7割を超えているが、最も高い70歳以上では88.7%、最も低い20歳代以下では73.8%とやや開きがある。
- ・地域別では、すべての地域で「知らない」が最も高いものの、最も高い第6ブロックでは88.6%、最も低い第1ブロックでは71.4%となっており、地域によって差がみられる。



■ 知っている

■ 知らない

□ 無回答

### (3) SDGsに関する活動を行っているか

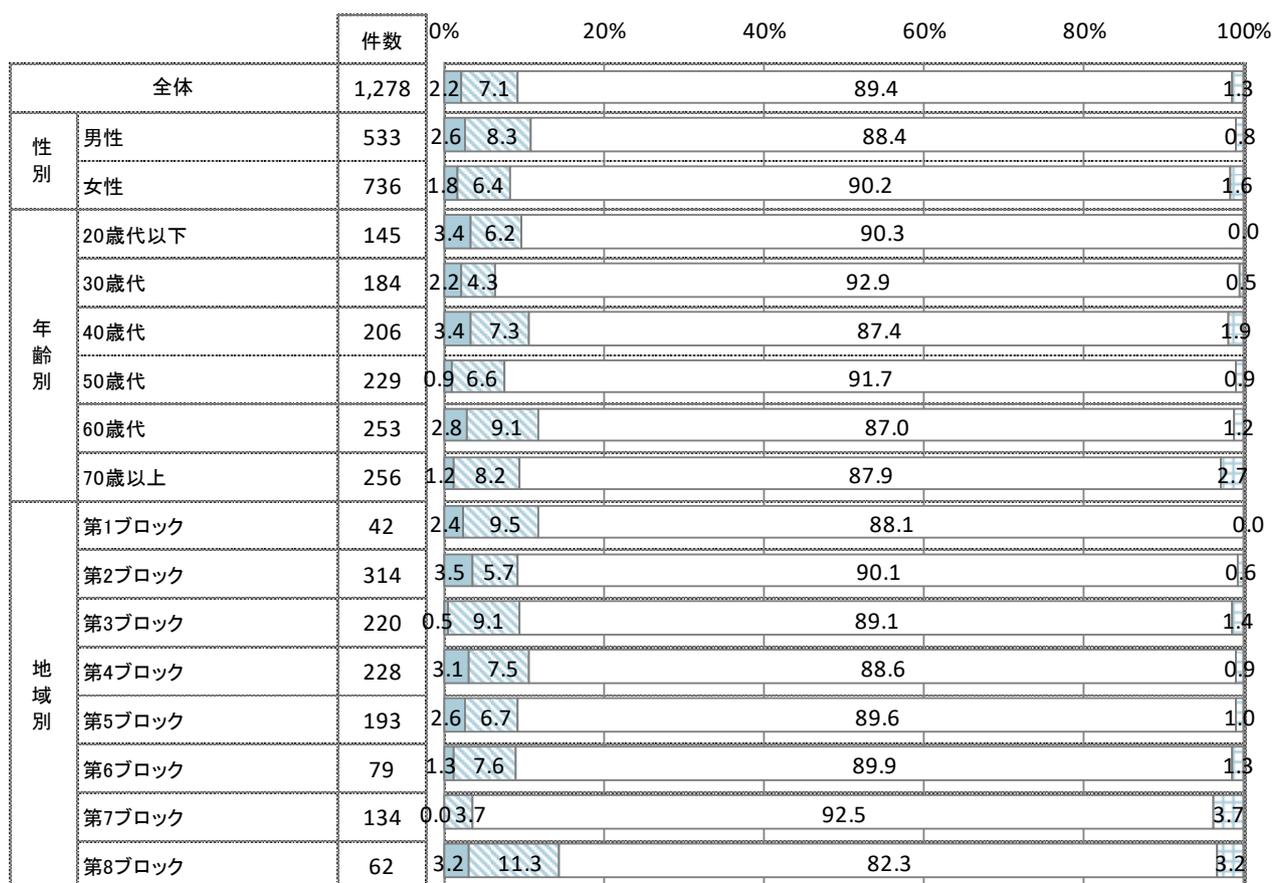
- ・全体結果では、「分からない（判断できない）」が 68.5%と 7 割近くを占め、次いで「行っていないが、今後行いたいと思っている」17.4%、「行っている」6.3%、「行っておらず、今後もう行うつもりはない」5.6%の順で続いた。
- ・性別では、「分からない（判断できない）」が男性 67.4%、女性 69.3%で、男性が女性を 1.9 ポイント下回っている。
- ・年齢別では、すべての年代で「分からない（判断できない）」が 6～7 割台と高くなっている。
- ・地域別では、すべての地域で「分からない（判断できない）」が最も高いものの、最も高い第 6 ブロックでは 77.2%、最も低い第 1 ブロックでは 59.5%と、地域によって差がみられる。

		件数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
全体		1,278	6.3	17.4	5.6	68.5		2.1
性別	男性	533	7.5	17.6	6.4	67.4		1.1
	女性	736	5.6	17.5	4.9	69.3		2.7
年齢別	20歳代以下	145	6.2	17.9	8.3	67.6		0.0
	30歳代	184	9.8	16.8	4.9	67.4		1.1
	40歳代	206	9.7	17.0	4.4	68.0		1.0
	50歳代	229	10.0	21.0	2.6	65.5		0.9
	60歳代	253	4.0	17.8	4.3	71.9		2.0
	70歳以上	256	0.4	14.5	9.8	69.1		6.3
地域別	第1ブロック	42	9.5	23.8	7.1	59.5		0.0
	第2ブロック	314	7.0	14.3	6.1	70.4		2.2
	第3ブロック	220	9.1	18.2	5.9	63.6		3.2
	第4ブロック	228	7.0	17.5	5.7	68.4		1.3
	第5ブロック	193	4.7	23.3	4.7	66.3		1.0
	第6ブロック	79	1.3	10.1	8.9	77.2		2.5
	第7ブロック	134	5.2	14.9	4.5	72.4		3.0
	第8ブロック	62	3.2	22.6	3.2	67.7		3.2

- 行っている
- 行っていないが、今後行いたいと思っている
- 行っておらず、今後もう行うつもりはない
- 分からない(判断できない)
- 無回答

#### (4) 松山市の「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」への選出について知っているか

- ・全体結果では、「知らない（このアンケートで初めて知った）」が 89.4%と最も高く、次いで「メインテーマは知らないが、選ばれたことは知っている」7.1%、「メインテーマも含めて、選ばれたことを知っている」2.2%の順で続いた。
- ・性別では、「知らない」が男性 88.4%、女性 90.2%で、女性が男性を 1.8 ポイント上回っている。
- ・年齢別では、すべての年代で「知らない」が最も高く、9割前後となっている。
- ・地域別では、すべての地域で「知らない」が最も高いものの、最も高い第7ブロックでは 92.5%、最も低い第8ブロックでは 82.3%となっており、地域によってやや差がみられる。



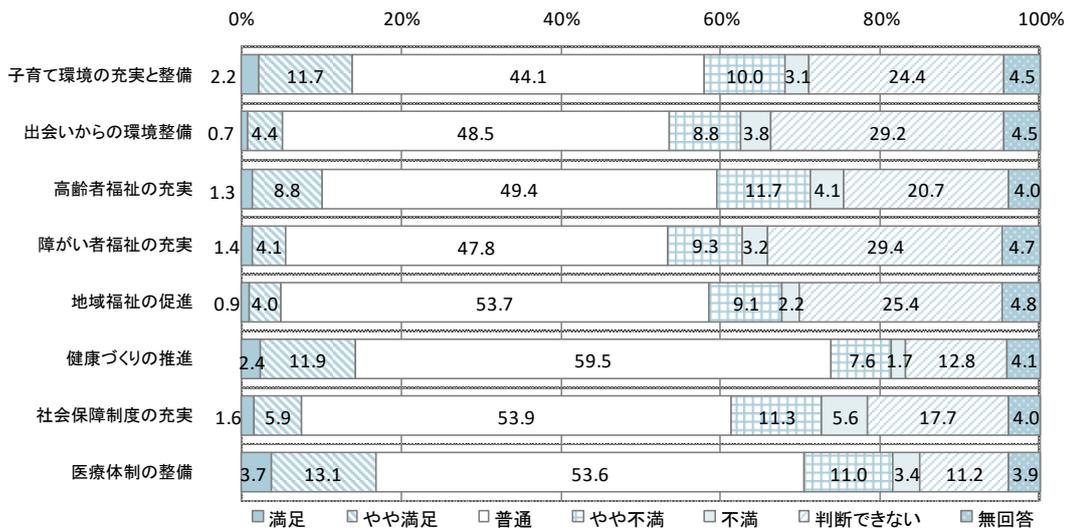
- メインテーマも含めて、選ばれたことを知っている
- メインテーマは知らないが、選ばれたことは知っている
- 知らない(このアンケートで初めて知った)
- 無回答

## 7. 市の取り組んでいる施策の満足度・重要度について

### (1) 健康・福祉に関する施策

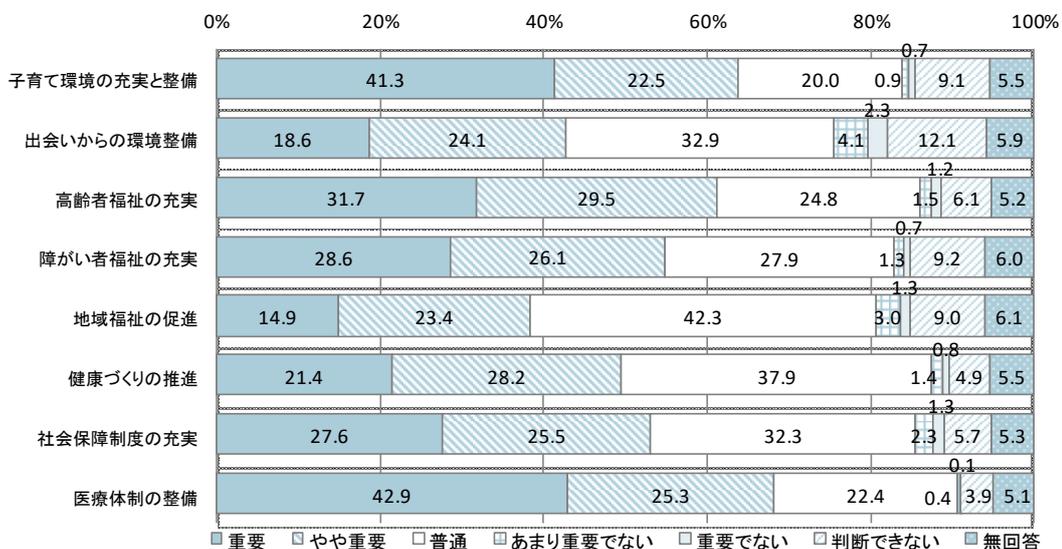
#### <満足度>

- ・「健康・福祉」に関するすべての施策で、満足度は「普通」であるとの評価が、4割～5割台を占めている。
- ・「判断できない」は「障がい者福祉の充実」で29.4%と最も高い。
- ・『満足』（「満足」+「やや満足」）と評価の高い施策の上位3項目は、「医療体制の整備」（16.8%）、「健康づくりの推進」（14.3%）、「子育て環境の充実と整備」（13.9%）である。
- ・一方で、『不満』（「不満」+「やや不満」）と評価の低い施策の上位3項目は、「社会保障制度の充実」（16.9%）、「高齢者福祉の充実」（15.8%）、「医療体制の整備」（14.4%）である。



#### <重要度>

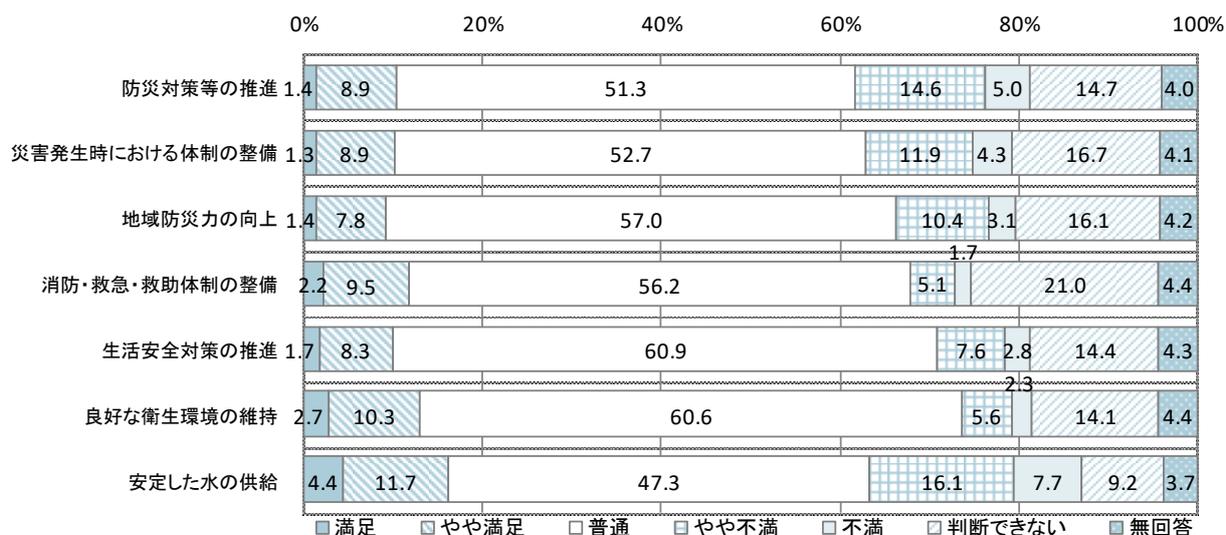
- ・「健康・福祉」に関する施策のうち、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えられている施策の上位3項目は、「医療体制の整備」（68.2%）、「子育て環境の充実と整備」（63.8%）、「高齢者福祉の充実」（61.2%）である。
- ・「健康づくりの推進」（49.6%）、「出会いからの環境整備」（42.7%）、「地域福祉の促進」（38.3%）では、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えている人が半数を下回っている。



## (2)安全・安心に関する施策

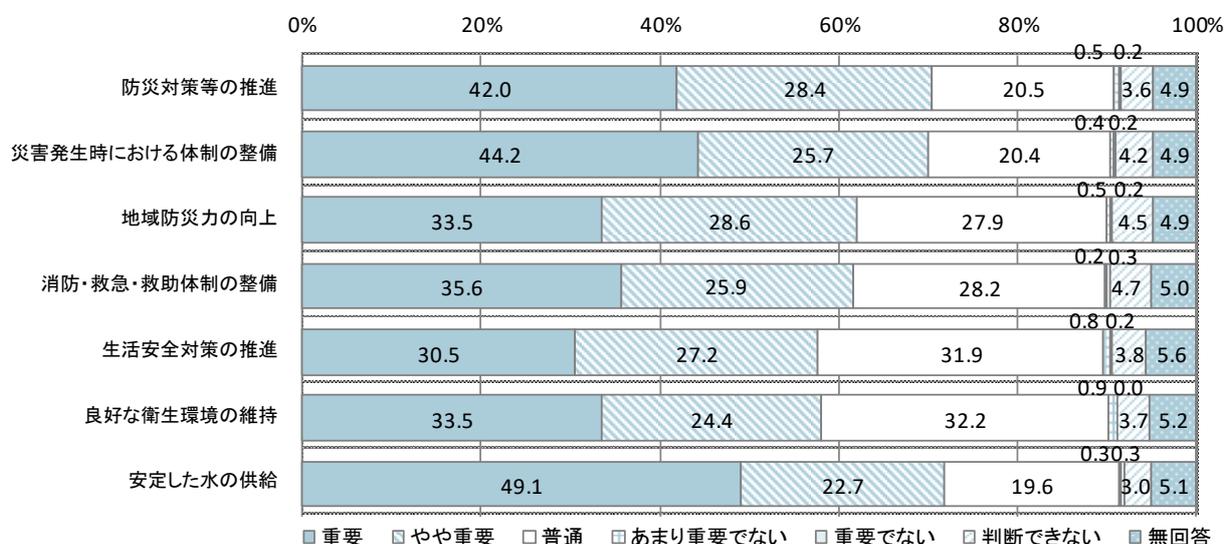
### <満足度>

- ・「安全・安心」に関するすべての施策で、満足度は「普通」であるとの評価が、4割半ば以上を占めている。
- ・「判断できない」は「消防・救急・救助体制の整備」で21.0%と最も高い。
- ・『満足』（「満足」+「やや満足」）と評価の高い施策の上位3項目は、「安定した水の供給」（16.1%）、「良好な衛生環境の維持」（13.0%）、「消防・救急・救助体制の整備」（11.7%）、である。
- ・一方で、『不満』（「不満」+「やや不満」）と評価の低い施策の上位3項目は、「安定した水の供給」（23.8%）、「防災対策等の推進」（19.6%）、「災害発生時における体制の整備」（16.2%）である。



### <重要度>

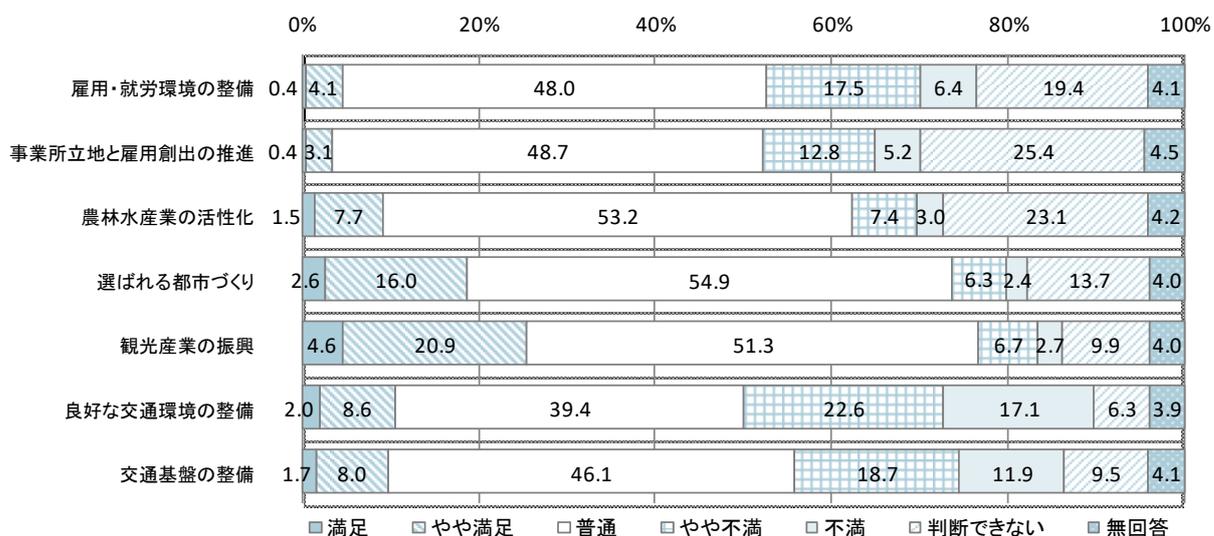
- ・「安全・安心」に関する施策のうち、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えられている施策の上位3項目は、「安定した水の供給」（71.8%）、「防災対策等の推進」（70.4%）、「災害発生時における体制の整備」（69.9%）である。
- ・また、すべての項目で、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えている人が過半数を占めている。



### (3) 産業・交流に関する施策

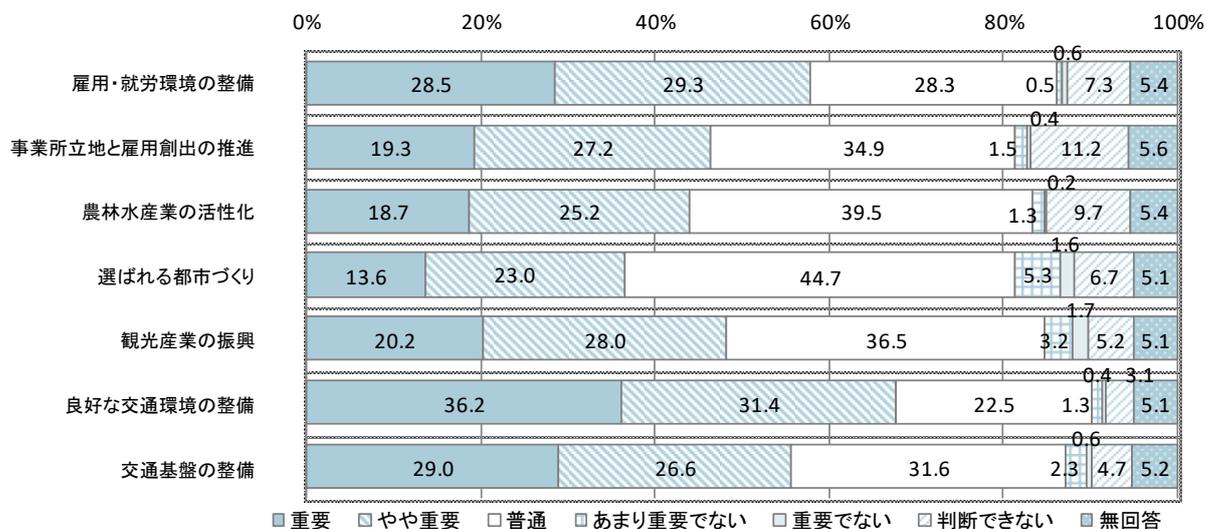
#### <満足度>

- ・「産業・交流」に関するすべての施策で、満足度は「普通」であるとの評価が、3割半ばから5割半ばを占めている。
- ・「判断できない」は「事業所立地と雇用創出の推進」で25.4%と最も高い。
- ・『満足』（「満足」+「やや満足」）と評価の高い施策の上位3項目は、「観光産業の振興」（25.5%）、「選ばれる都市づくり」（18.6%）、「良好な交通環境の整備」（10.6%）である。
- ・一方で、『不満』（「不満」+「やや不満」）と評価の低い施策の上位3項目は、「良好な交通環境の整備」（39.7%）、「交通基盤の整備」（30.6%）、「雇用・就労環境の整備」（23.9%）である。



#### <重要度>

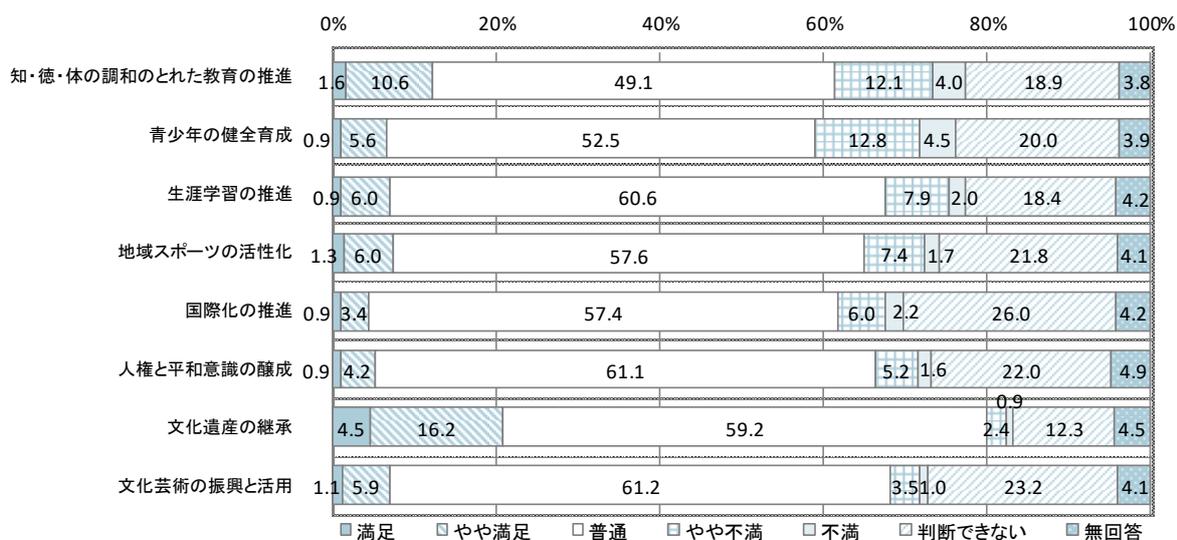
- ・「産業・交流」に関する施策のうち、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えられている施策の上位3項目は、「良好な交通環境の整備」（67.6%）、「雇用・就労環境の整備」（57.8%）、「交通基盤の整備」（55.6%）である。
- ・「観光産業の振興」（48.2%）、「事業所立地と雇用創出の推進」（46.5%）、「農林水産業の活性化」（43.9%）でも、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えている人が4割以上となっている。



#### (4)教育・文化に関する施策

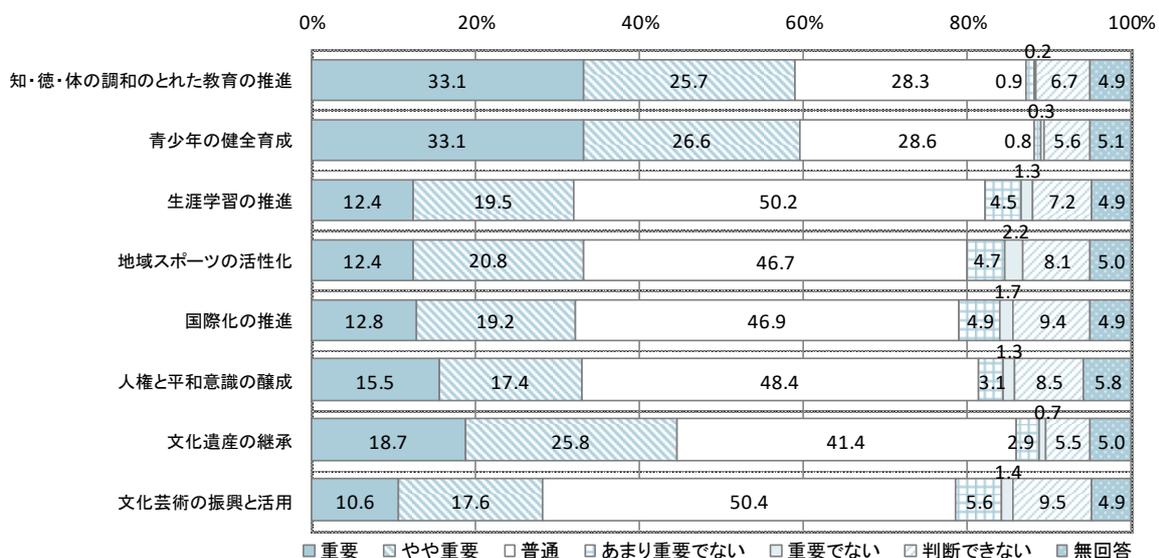
##### <満足度>

- ・「教育・文化」に関するすべての施策で、満足度は「普通」であるとの評価が、4割半ば以上となっている。
- ・「判断できない」は「国際化の推進」で26.0%と最も高い。
- ・『満足』（「満足」+「やや満足」）と評価の高い施策の上位3項目は、「文化遺産の継承」（20.7%）、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」（12.2%）、「地域スポーツの活性化」（7.3%）が続いている。
- ・一方で、『不満』（「不満」+「やや不満」）と評価の低い施策の上位3項目は、「青少年の健全育成」（17.3%）、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」（16.1%）、「生涯学習の推進」（9.9%）である。



##### <重要度>

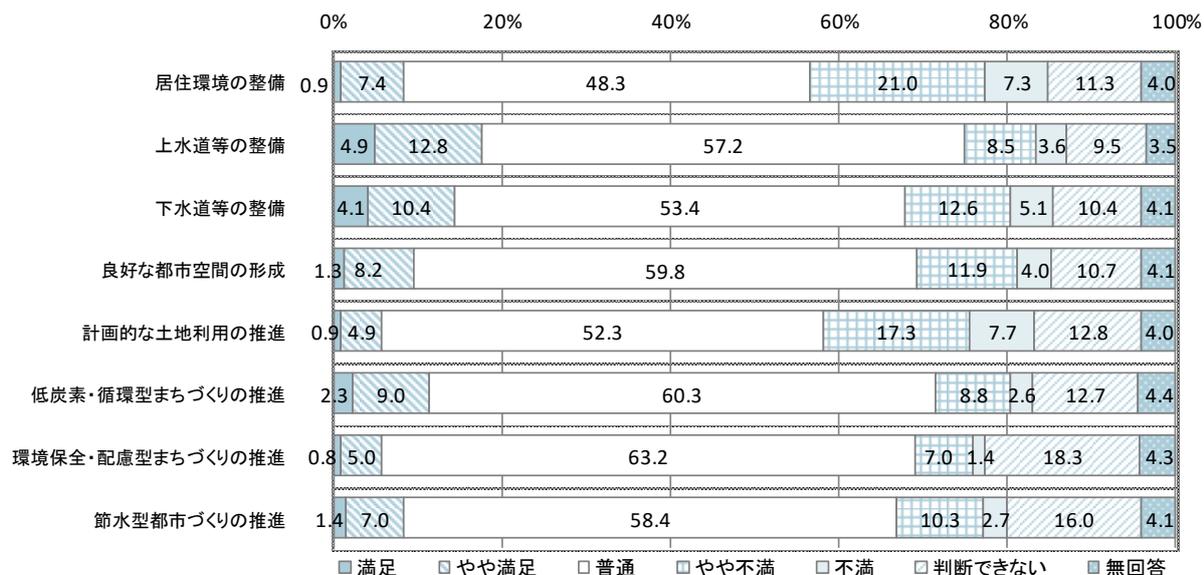
- ・「教育・文化」に関する施策のうち、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えられている施策の上位3項目は、「青少年の健全育成」（59.7%）及び「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」（58.8%）がやや突出し、続いて「文化遺産の継承」（44.5%）となっている。
- ・上位3項目以外の施策については、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えている人が3割半ばを下回っている。



## (5) 環境・都市に関する施策

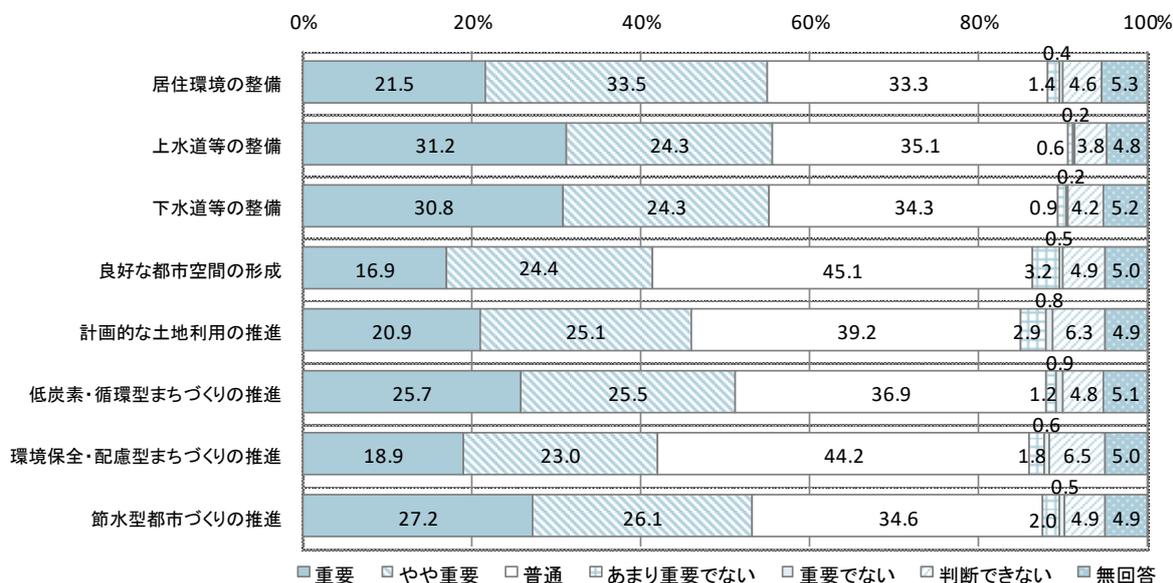
### <満足度>

- 「環境・都市」に関するすべての施策で、満足度は「普通」であるとの評価が、4割半ば以上となっている。
- 「判断できない」は「環境保全・配慮型まちづくりの推進」で18.3%と最も高い。
- 『満足』（「満足」+「やや満足」）と評価の高い施策の上位3項目は、「上水道等の整備」（17.7%）、「下水道等の整備」（14.5%）、「低炭素・循環型まちづくりの推進」（11.3%）である。
- 一方で、『不満』（「不満」+「やや不満」）と評価の低い施策の上位3項目は、「居住環境の整備」（28.3%）、「計画的な土地利用の推進」（25.0%）、「下水道等の整備」（17.7%）である。



### <重要度>

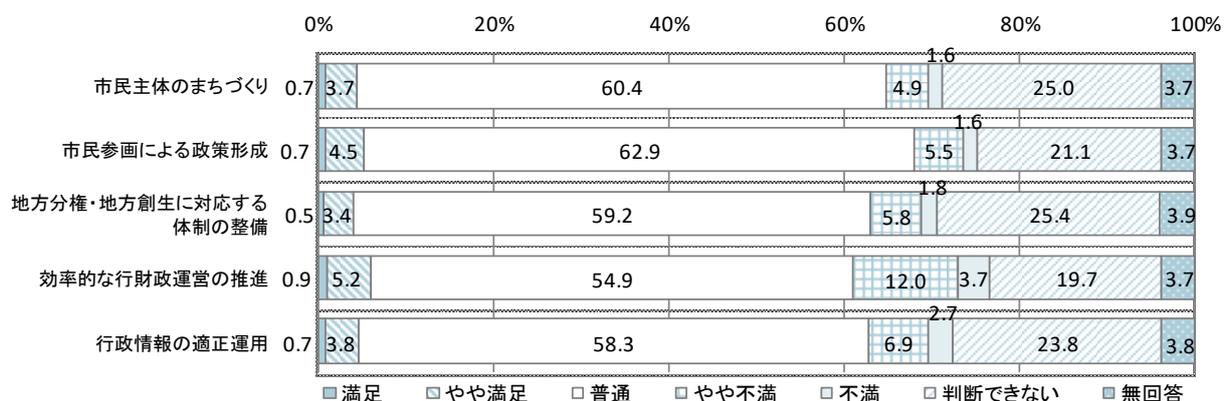
- 「環境・都市」に関する施策のうち、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えられている施策の上位3項目は、「上水道等の整備」（55.5%）、「下水道等の整備」（55.1%）、「居住環境の整備」（55.0%）である。
- 「計画的な土地利用の推進」（46.0%）、「環境保全・配慮型まちづくりの推進」（41.9%）、「良好な都市空間の形成」（41.3%）では、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えている人が半数を下回っている。



## (6) 自治・行政に関する施策

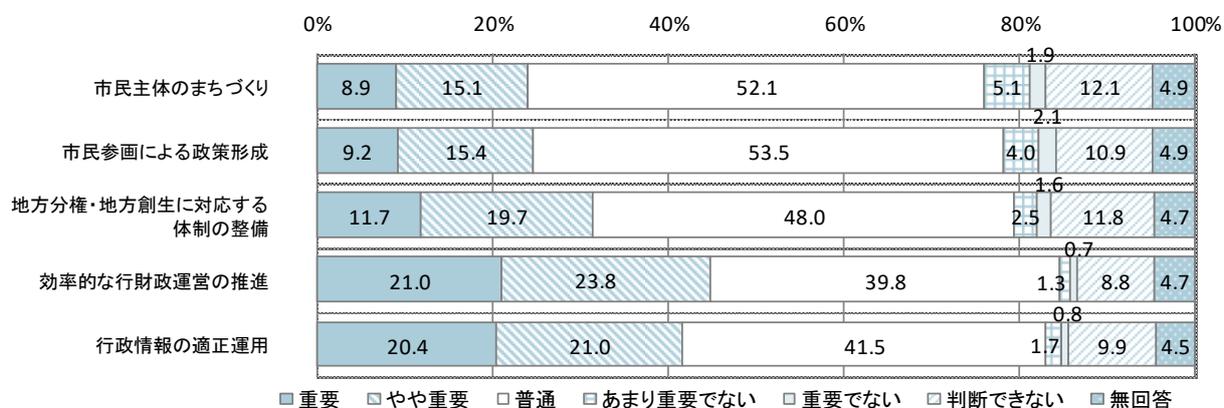
### <満足度>

- ・「自治・行政」に関するすべての施策で、満足度は「普通」であるとの評価が、5割以上を占めている。
- ・「判断できない」は「地方分権・地方創生に対応する体制の整備」で25.4%と最も高い。
- ・『満足』（「満足」+「やや満足」）と評価の高い施策の上位3項目は、「効率的な行財政運営の推進」(6.1%)、「市民参画による政策形成」(5.2%)、「行政情報の適正運用」(4.5%)が続いている。
- ・一方で、『不満』（「不満」+「やや不満」）と評価の低い施策の上位3項目は、「効率的な行財政運営の推進」(15.7%)がやや高く、「行政情報の適正運用」(9.6%)、「地方分権・地方創生に対応する体制の整備」(7.6%)と続いている。



### <重要度>

- ・「自治・行政」に関する施策のうち、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えられている施策の上位3項目は、「効率的な行財政運営の推進」(44.8%)、「行政情報の適正運用」(41.4%)、「地方分権・地方創生に対応する体制の整備」(31.4%)である。
- ・また、すべての施策で、『重要』（「重要」+「やや重要」）と考えている人が半数を下回っている。



## Ⅲ 調査分析

### 1. 満足度・重要度

本章では、第6次松山市総合計画の施策ごとの満足度・重要度について、回答選択肢1（「不満」、「重要でない」）から回答選択肢5（「満足」、「重要」）まで、それぞれ1点から5点を与え、加重平均を算出した。なお、回答選択肢0「判断できない」及び「無回答」のサンプルは集計対象から除外している。また、得点については、小数点第3位を四捨五入しているため、同じ値で表示されていても順位が異なる場合がある。平均得点及び得点差は、小数点第3位を四捨五入した値を基に分析している。

#### (1) 本市が実施している施策ごとの評価

##### 全体集計

<満足度> 全項目平均得点【R2年度】2.92 【R1年度】2.91 【H30年度】2.90

**得点が普通（3.00）を下回り、比較的不満のある施策が多い（43項目中32項目）。  
分野ごとの平均では、【教育・文化】分野が高く、【産業・交流】分野が低くなっている。**

- ・満足度得点についてみると、松山市で実施している施策全43項目のうち、3.00（普通）以上のプラス評価の項目は11項目、3.00（普通）未満のマイナス評価の項目は32項目となっている。
- ・得点は、最高3.25から最低2.51の範囲（得点差0.74）に分布しており、全項目の平均得点は2.92と、3.00（普通）を下回りマイナス評価となっている。
- ・満足度の高い施策は、上位から、1位「文化遺産の継承(④-7)」(3.25)、2位「観光産業の振興(③-5)」(3.21)、3位「選ばれる都市づくり(③-4)」(3.12)、4位「上水道等の整備(⑤-2)」(3.08)、5位「消防・救急・救助体制の整備(②-4)」(3.07)となっている。
- ・満足度の低い施策は、下位から、43位「良好な交通環境の整備(③-6)」(2.51)、42位「交通基盤の整備(③-7)」(2.64)、41位「雇用・就労環境の整備(③-1)」(2.67)、40位「計画的な土地利用の推進(⑤-5)」(2.69)、39位「居住環境の整備(⑤-1)」(2.69)となっている。

<重要度> 全項目平均得点【R2年度】3.80 【R1年度】3.77 【H30年度】3.77

**全項目で得点が普通（3.00）を上回り、すべての施策が重要視されている。  
分野ごとの平均では、【安全・安心】分野が高く、【自治・行政】分野が低くなっている。**

- ・重要度得点についてみると、松山市で実施している施策全43項目すべてが3.00（普通）以上であり、すべての項目が重要であると評価されている。そのうち、4.00（やや重要）以上の項目は、11項目である。
- ・得点は、最高4.30から最低3.29の範囲（得点差1.01）に分布しており、全項目の平均得点は、3.80となっている。
- ・重要度の高い施策は、上位から、1位「安定した水の供給(②-7)」(4.30)、2位「災害発生時における体制の整備(②-2)」(4.25)、3位「防災対策等の推進(②-1)」(4.22)、4位「医療体制の整備(①-8)」(4.21)、5位「子育て環境の充実と整備(①-1)」(4.20)となっている。

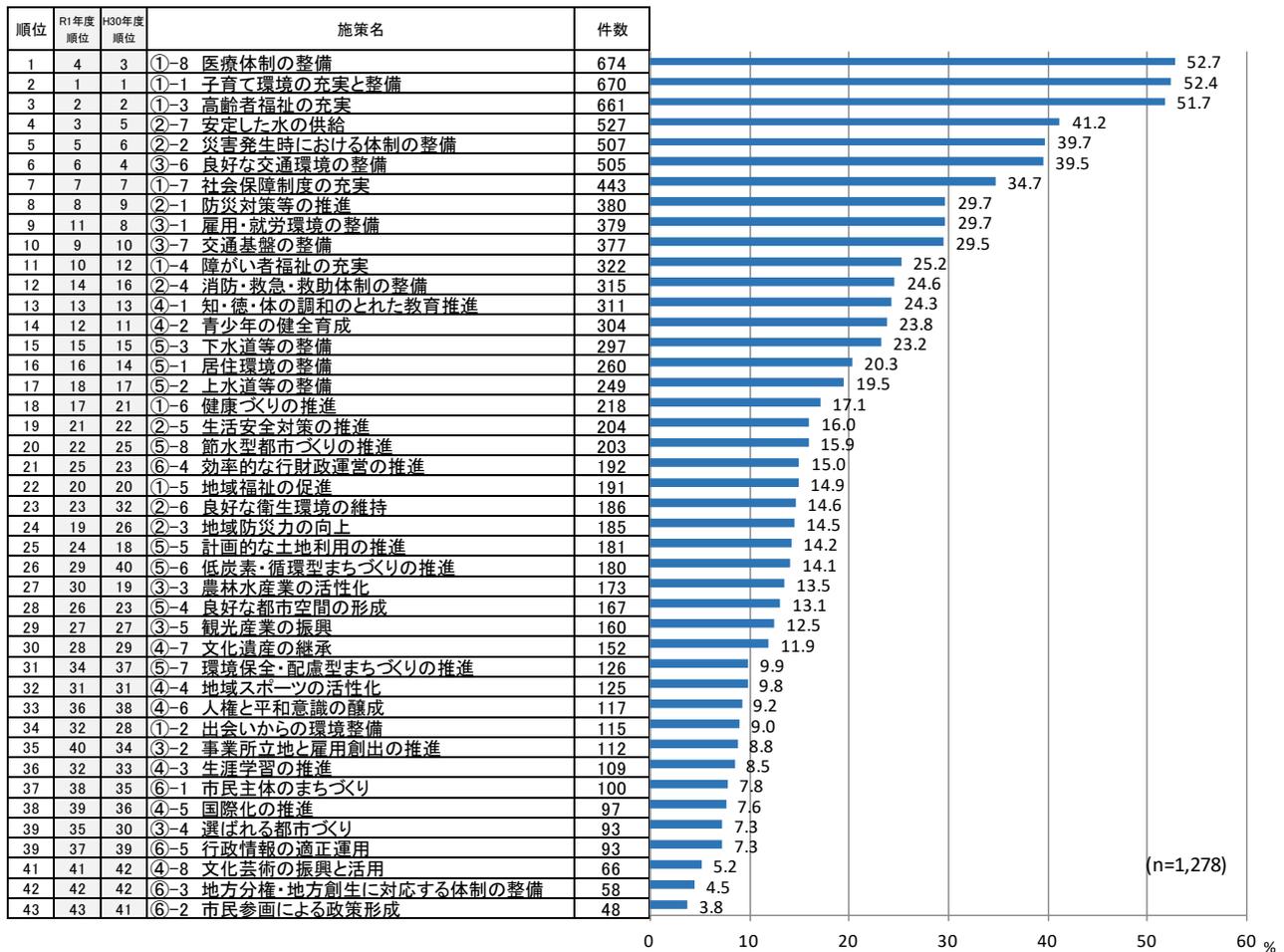
施策別満足度・重要度一覧表（分野別平均）

大項目	施策名	満足度						重要度					
		R2年度		R1年度		H30年度		R2年度		R1年度		H30年度	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
① 【健康・福祉】	1 子育て環境の充実と整備	10	3.00	8	3.05	25	2.89	5	4.20	4	4.20	4	4.14
	2 出会いからの環境整備	35	2.84	29	2.85	31	2.82	32	3.64	30	3.64	33	3.55
	3 高齢者福祉の充実	30	2.89	32	2.84	29	2.84	11	4.00	10	4.01	15	3.88
	4 障がい者福祉の充実	32	2.87	31	2.84	28	2.84	15	3.95	15	3.90	17	3.85
	5 地域福祉の促進	28	2.89	26	2.87	26	2.88	34	3.56	33	3.56	35	3.50
	6 健康づくりの推進	6	3.07	4	3.09	5	3.09	24	3.76	23	3.78	28	3.72
	7 社会保障制度の充実	36	2.83	36	2.78	35	2.76	20	3.85	20	3.85	21	3.82
	8 医療体制の整備	9	3.03	9	3.04	10	3.01	4	4.21	7	4.11	6	4.09
		①【健康・福祉】平均		2.93		2.92		2.89		3.90		3.88	
② 【安全・安心】	1 防災対策等の推進	33	2.84	37	2.77	40	2.69	3	4.22	3	4.29	1	4.26
	2 災害発生時における体制の整備	29	2.89	35	2.82	37	2.76	2	4.25	2	4.30	2	4.26
	3 地域防災力の向上	22	2.93	28	2.86	30	2.83	8	4.04	5	4.14	8	4.07
	4 消防・救急・救助体制の整備	5	3.07	7	3.07	7	3.06	7	4.07	6	4.12	9	4.06
	5 生活安全対策の推進	12	2.98	11	2.99	15	2.97	14	3.96	11	3.98	11	3.92
	6 良好な衛生環境の維持	7	3.07	6	3.07	4	3.09	12	3.99	12	3.97	18	3.84
	7 安定した水の供給	31	2.87	34	2.82	32	2.81	1	4.30	1	4.31	3	4.24
		②【安全・安心】平均		2.95		2.92		2.89		4.12		4.16	
③ 【産業・交流】	1 雇用・就労環境の整備	41	2.67	39	2.69	39	2.69	13	3.97	16	3.90	13	3.90
	2 事業所立地と雇用創出の推進	38	2.72	38	2.75	36	2.76	23	3.76	26	3.69	26	3.73
	3 農林水産業の活性化	16	2.96	33	2.84	34	2.77	26	3.72	24	3.76	20	3.82
	4 選ばれる都市づくり	3	3.12	3	3.12	3	3.11	36	3.47	35	3.51	31	3.59
	5 観光産業の振興	2	3.21	2	3.25	2	3.25	28	3.69	27	3.69	24	3.78
	6 良好な交通環境の整備	43	2.51	43	2.53	43	2.53	6	4.11	8	4.10	7	4.07
	7 交通基盤の整備	42	2.64	41	2.67	41	2.65	18	3.90	14	3.91	12	3.91
		③【産業・交流】平均		2.83		2.83		2.82		3.80		3.79	
④ 【教育・文化】	1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	25	2.92	13	2.98	20	2.93	9	4.02	13	3.92	10	3.96
	2 青少年の健全育成	37	2.81	30	2.84	33	2.77	10	4.02	9	4.01	5	4.10
	3 生涯学習の推進	20	2.95	18	2.95	13	2.97	39	3.42	38	3.44	39	3.41
	4 地域スポーツの活性化	13	2.97	12	2.99	16	2.97	40	3.42	39	3.41	38	3.43
	5 国際化の推進	24	2.92	19	2.94	22	2.92	38	3.43	41	3.35	40	3.38
	6 人権と平和意識の醸成	14	2.97	14	2.97	17	2.96	35	3.50	37	3.48	37	3.46
	7 文化遺産の継承	1	3.25	1	3.26	1	3.27	30	3.66	29	3.68	29	3.67
	8 文化芸術の振興と活用	8	3.04	10	3.04	8	3.05	41	3.36	40	3.37	42	3.35
	④【教育・文化】平均		2.98		3.00		2.98		3.60		3.60		3.60
⑤ 【環境・都市】	1 居住環境の整備	39	2.69	40	2.67	38	2.72	21	3.83	22	3.81	22	3.80
	2 上水道等の整備	4	3.08	5	3.08	6	3.07	16	3.94	17	3.88	14	3.88
	3 下水道等の整備	19	2.95	21	2.93	18	2.94	17	3.93	18	3.88	16	3.86
	4 良好な都市空間の形成	27	2.89	24	2.90	23	2.91	33	3.60	34	3.56	34	3.55
	5 計画的な土地利用の推進	40	2.69	42	2.66	42	2.64	27	3.70	25	3.72	23	3.78
	6 低炭素・循環型まちづくりの推進	11	3.00	17	2.96	9	3.03	22	3.82	21	3.84	27	3.73
	7 環境保全・配慮型まちづくりの推進	17	2.96	15	2.96	11	2.98	31	3.65	32	3.63	32	3.58
	8 節水型都市づくりの推進	23	2.92	23	2.91	21	2.92	19	3.86	19	3.87	19	3.82
	⑤【環境・都市】平均		2.90		2.88		2.90		3.79		3.77		3.75
⑥ 【自治・行政】	1 市民主体のまちづくり	18	2.96	16	2.96	14	2.97	43	3.29	43	3.28	43	3.34
	2 市民参画による政策形成	15	2.96	20	2.93	12	2.98	42	3.30	42	3.31	41	3.35
	3 地方分権・地方創生に対応する体制の整備	21	2.93	25	2.88	24	2.91	37	3.45	36	3.50	36	3.50
	4 効率的な行政運営の推進	34	2.84	27	2.87	27	2.88	25	3.73	28	3.69	25	3.73
	5 行政情報の適正運用	26	2.90	22	2.92	19	2.93	29	3.69	31	3.63	30	3.63
		⑥【自治・行政】平均		2.92		2.91		2.93		3.49		3.48	
	全体平均		2.92		2.91		2.90		3.80		3.77		3.77

## 2. 施策の優先度について

松山市が実施している施策のうち、市民が優先的に取り組むべきだと思う上位 10 位までの施策は、1 位「医療体制の整備(①-8)」が 52.7%で、以下 2 位「子育て環境の充実と整備(①-1)」(52.4%)、3 位「高齢者福祉の充実(①-3)」(51.7%)、4 位「安定した水の供給(②-7)」(41.2%)、5 位「災害発生時における体制の整備(②-2)」(39.7%)、6 位「良好な交通環境の整備(③-6)」(39.5%)、7 位「社会保障制度の充実(①-7)」(34.7%)、8 位「防災対策等の推進(②-1)」(29.7%)、9 位「雇用・就労環境の整備(③-1)」(29.7%)、10 位「交通基盤の整備(③-7)」(29.5%) の順となった。

### 施策の優先度ランキング

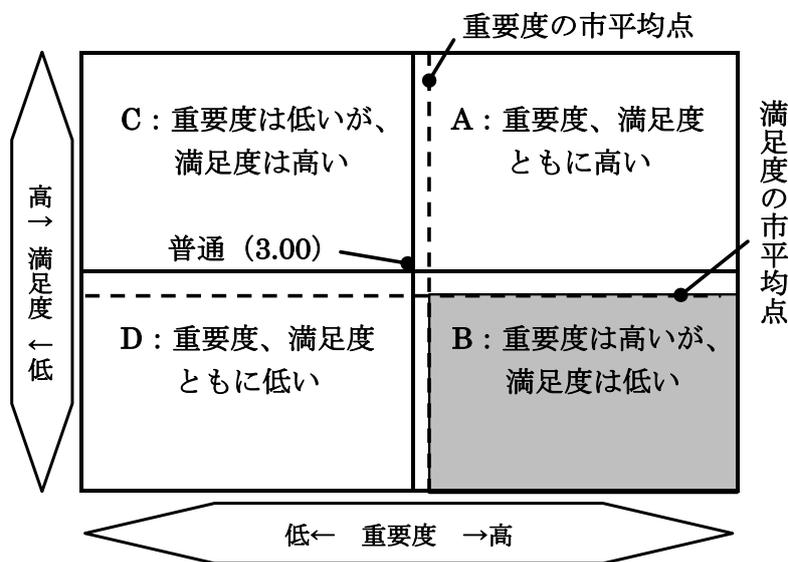


### 3. 重要度及び満足度、優先度の関係

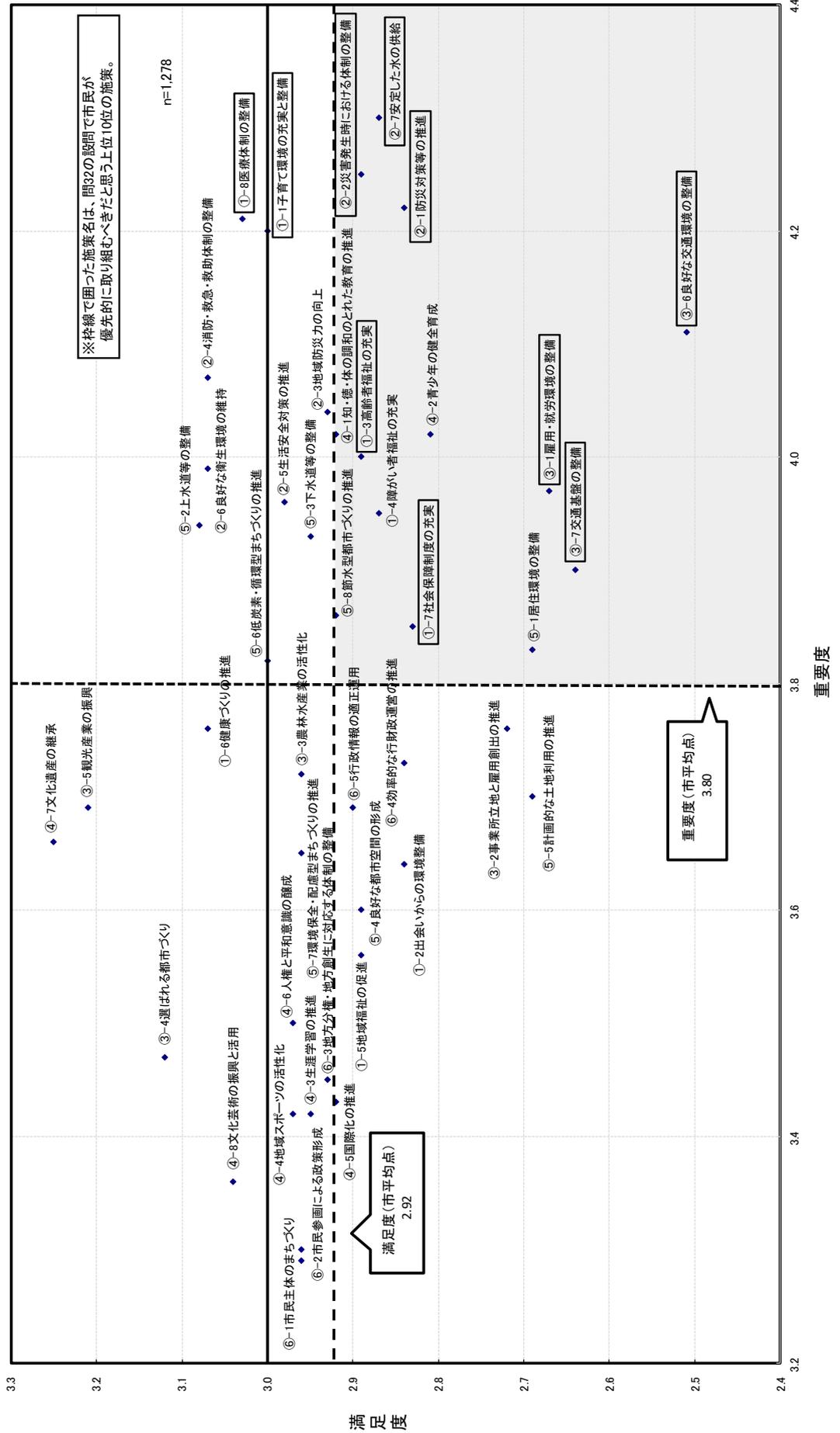
下図のとおり、第6次松山市総合計画43施策ごとの満足度と重要度の評価は、「普通」(3.00)を基準に、「A：重要度、満足度ともに高い」、「B：重要度は高いが、満足度は低い」、「C：重要度は低い、満足度は高い」、「D：重要度、満足度ともに低い」に整理できる。

市民は、この結果のうち、特に「B：重要度は高いが、満足度は低い」の領域に属し、かつ優先度ランキングの上位に位置する施策を、これまでの市の取組状況から重要と判断しながらも、現状に対する満足度が低く、今後優先的に取り組むべき施策ととらえていると考えられる。

こうした施策に該当する、重要度が平均点(3.80)以上かつ満足度が平均点(2.92)以下の施策としては、「安定した水の供給(②-7)」、「災害発生時における体制の整備(②-2)」、「防災対策等の推進(②-1)」、「良好な交通環境の整備(③-6)」、「高齢者福祉の充実(①-3)」、「雇用・就労環境の整備(③-1)」、「交通基盤の整備(③-7)」、「社会保障制度の充実(①-7)」などが挙げられる。



市民意識調査での各施策の満足度・重要度の分布と市民優先度の関係



## 令和2年度 松山市 市民意識調査 報告書（概要版）

---

発行：令和3年3月

編集：松山市総合政策部企画戦略課

所在地：〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

電話：(089)948-6213 FAX：(089)934-1804

電子メール：kikaku@city.matsuyama.ehime.jp